

平成29年度

教育委員会事務の点検及び評価報告書

(平成28年度事務事業対象)

平成29年9月

長門市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会の活動状況	2
教育委員会の活動状況について	2
教育委員会事務の点検及び評価制度	5
1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価の実施について	5
2 長門市教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行の状況の点検及び評価について	5
3 点検及び評価の対象事業について	8
4 有識者の総括的な意見	10
5 各事務事業の点検及び評価結果	13

はじめに

長門市教育委員会では、「教育基本法」（平成 18 年法律第 120 号）の規定に基づき、平成 24 年度から平成 28 年度までの 5 年間を計画期間とする「長門市教育振興基本計画」を策定し、中長期的な視点から教育の充実に向けた取組を推進してきましたが、これまでの成果や課題の検証を踏まえ、更なる教育の充実・推進を図るため、国及び県の教育振興計画を参酌し、平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間を計画期間とする「第 2 期長門市教育振興基本計画」を平成 29 年 3 月に策定しました。

この計画は、学校教育や社会教育におけるこれまでの取組を基本的に継承し、本市における教育振興に必要な施策を体系化しています。そして、基本理念を「生涯を通じて自らを磨き、ともに高め、『知』をはぐくむ」とし、教育をめぐる家庭・地域・学校・行政の各主体が密に連携しながら、それぞれの立場で「知」をはぐくむ教育の振興に努め、社会全体で教育に取り組むものとしています。

平成 26 年には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和 31 年法律第 162 号）が改正され、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることが義務付けられ、本市では平成 27 年度に「長門市教育大綱」を策定しました。大綱では「長門を愛する子、故郷を誇れる子を育む」を推進の力点として、コミュニティ・スクール、地域協育ネットを主な取組として推進することとしました。

また、平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成 20 年度からすべての教育委員会は、「毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならない」とこととされました。

そこで、市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政を推進するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、市教育委員会が実施した平成 28 年度事務事業のうち、主要な事務事業を対象に市教育委員会自らが点検及び評価を行い、学識経験者等の意見をいただき、報告書としてまとめるものです。

教育委員会の活動状況

教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の開催状況

教育委員会の会議は、原則として毎月第4火曜日に「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催することとしています。平成28年度は、次のとおり会議を開催しました。

- ①定例会・・・・・・・・ 12回
- ②臨時会・・・・・・・・ 2回

(2) 教育委員会での審議及び報告

教育委員会の会議では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める事務(同法第26条及び「長門市教育委員会所管事務委任規則」の規定に基づき、教育長に委任された事務を含む。)について、議案審議及び報告等を行いました。

【付議事件等】(平成28年4月～平成29年3月)

区分	内 容	件数
議 案	教育行政の運営に関する一般方針を決定すること	2
	規則及び規程の制定または改廃に関すること	6
	議会の議決を経るべき事件の議案に関すること	—
	学校その他の教育機関の設置又は廃止に関すること	—
	人事に関すること	4
	附属機関等の委員等の委嘱等に関すること	9
	通学区域に関すること	—
	県費負担教職員の任免その他の進退の内申に関すること	1
	その他	1
指 定	教育長職務代理者の選任について	1
報 告		10
協 議		8

教育委員会議の活性化のために、次のことに継続して取り組みました。

- ①会議録の承認・・・教育委員及び事務局職員の共通認識及び発言内容の確認のために、委員会で承認を受ける。
- ②教育長からの報告・・・各課からの報告のみでなく、教育長から諸会議等の出席に伴う報告及び最新情報の提供を行う。
- ③意見交換の実施・・・市内外の問題をタイムリーに意見交換する。

(3) 総合教育会議の開催

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成 27 年 4 月 1 日施行）され、市長と教育委員会により構成される総合教育会議が設置されました。これにより、市長が教育行政に果たす責任や役割が明確になるとともに、市長が公の場で教育政策について議論することが可能になりました。また、市長と教育委員会が協議及び調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることが可能になりました。

平成 28 年度は、次のとおり総合教育会議を開催しました。

- ・第 1 回 平成 28 年 7 月 6 日
- ・第 2 回 平成 28 年 12 月 22 日
- ・第 3 回 平成 29 年 2 月 9 日

(4) 教育委員の活動

教育委員の各種行事への参加状況は次のとおりです。

①幼稚園・小中学校計画訪問

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
6/1	通小学校	5/18	浅田小学校	10/17	深川中学校
5/23	仙崎小学校	5/25	日置小学校	10/12	三隅中学校
11/16	深川小学校	6/22	神田小学校	10/7	日置中学校
7/6	向陽小学校	6/8	油谷小学校	7/8	菱海中学校
7/5	俵山小学校	10/19	向津具小学校	10/18	宗頭幼稚園
11/9	明倫小学校	7/7	仙崎中学校		

②研修会等

- ・山口県都市教育長会議 平成 28 年 4 月 20 日
- ・山口県市教育委員会協議会総会 平成 28 年 4 月 20 日
- ・山口県市町教育委員会委員研修会議 平成 28 年 4 月 20 日
- ・全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
平成 28 年 5 月 19 日～20 日
- ・中国地区都市教育長会定期総会並びに研究協議会
平成 28 年 10 月 20 日～21 日
- ・市町村教育委員研究協議会 平成 29 年 1 月 26 日

③式典

- ・長門市立小学校入学式 平成 28 年 4 月 8 日
- ・長門市立中学校入学式 平成 28 年 4 月 8 日
- ・長門市成人式 平成 29 年 1 月 3 日
- ・長門市立中学校卒業証書授与式 平成 29 年 3 月 9 日
- ・長門市立小学校卒業証書授与式 平成 29 年 3 月 17 日

教育委員会事務の点検及び評価制度

1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

平成 18 年 12 月の「教育基本法」の改正と平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(1) 点検及び評価の目的

点検及び評価は、市民に対する行政の説明責任を果たすことによって、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上を図るとともに、今後重点化を図らなければならない分野を明確にすることにより、市民が求める質の高い教育を提供していくことを目的としています。

(2) 点検及び評価の対象

①対象期間

平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）

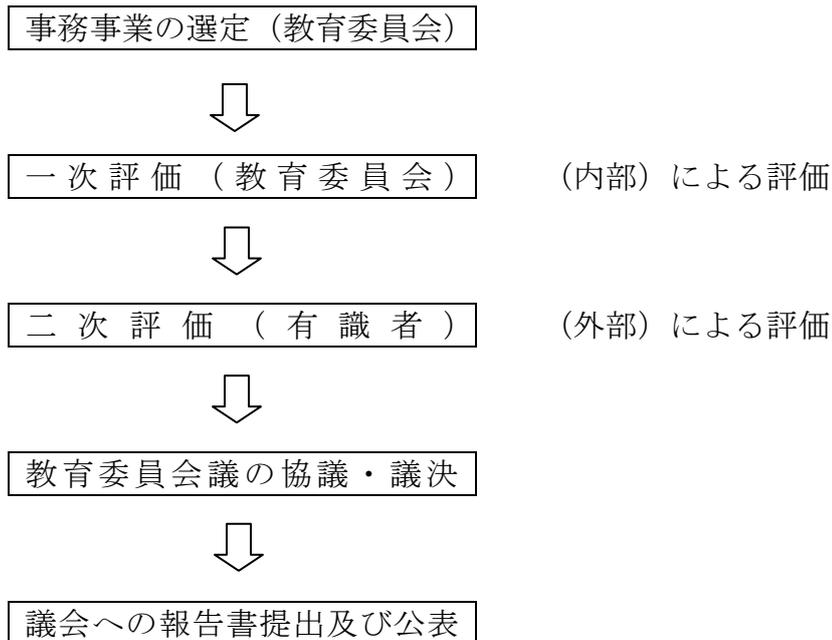
②対象事務

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に規定されている教育委員会の権限に属する事務（市長部局において補助執行している事務を含む。）及び市長の権限に属する事務のうち教育委員会事務局において補助執行している事務

(3) 点検及び評価の実施方法

「長門市教育振興基本計画」に定める基本理念と基本目標に基づき、具体的かつ総合的に事業を進めるために策定した「平成28年度長門市教育施策方針」に定める施策に関する事務事業ごとに執行状況を点検し、これを評価する方法により実施しました。

(4) 点検及び評価の流れ



(5) 有識者の知見の活用について

事務事業の点検及び評価の客観性を確保し、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、事務事業の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置き、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果について、ご意見をいただきました。

有識者は次のとおりです。

- ・ 梶谷 稔 (深川中学校学校運営協議会委員)
- ・ 山近 弘恵 (三隅中学校学校運営協議会委員)
- ・ 山近 洋祐 (元中学校長)
- ・ 吉村 典和 (菱海中学校学校運営協議会委員)
- ・ 中川 美智子 (油谷地区公民館運営協議会委員)

長門市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱

平成 22 年 4 月 1 日

教育委員会要綱第 4 号

(改正 平成 27 年 3 月 23 日教育委員会要綱第 6 号)

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。）第 26 条第 1 項の規定により行う教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第 2 条 点検及び評価の対象は、長門市教育委員会教育行政施策方針に定められた施策を推進する事務事業のうちから、教育委員会が選択したもの（以下「事務事業」という。）とする。

(点検及び評価の実施)

第 3 条 教育委員会は、当該事務事業を企画立案し遂行する立場から、毎年度、事業の必要性、効率性、有効性その他の事項を視点として、点検及び評価を行う。

(点検及び評価に関する有識者)

第 4 条 点検及び評価を行うにあたり、客観性を確保するため、事務事業の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）を置き、教育に関し学識経験を有する者等の知見の活用を図る。

2 有識者は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 有識者は 5 人以内とし、教育に関し学識経験を有する者、教育に関し優れた識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

4 有識者の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 有識者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(市議会への報告等)

第 5 条 点検及び評価の結果は、毎年市議会に報告するものとする。

2 前項の報告の後に、点検及び評価の結果を市民に対し公表するものとする。

(補則)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 27 年教育委員会要綱第 6 号)

この要綱は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

3 点検及び評価の対象事業について

基本理念	基本目標	施策の課題	事務事業	番号
生涯を通じて自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ	安全・安心を確保するとともに、質の高い教育環境を整備します	安全・安心な教育を支える環境の整備	学校施設の耐震化事業	1
			深川小学校浸水対策事業	2
			学校統廃合事業	3
			学校給食センター運営管理事業	4
			通学支援事業	5
		質の高い教育を支える環境の整備	学校教育の情報化事業	6
			長門市学校教育研究大会事業	7
		地域で子どもたちを育てる環境の整備	コミュニティ・スクール推進事業	8
			地域協育ネット事業	9
			家庭教育支援事業	10
	子どもたちの個性を尊重しつつ能力を伸ばし、生きる力を育成します	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成	「確かな学力」育成サポート事業	11
			学校図書館支援員配置事業	12
		規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり	教育支援センター事業	13
			いじめ問題等対策事業	14
		特別なニーズに対応した教育の推進	特別支援教育の充実事業	15
			夏季教育研修講座事業	16
			教育支援委員会事業	17
			研究指定校補助事業	18
			子ども教育ゆめ基金海外派遣事業	19
			防災教育推進事業	20

基本理念	基本目標	施策の課題	事務事業	番号
生涯を通して自らを磨き・高め、連携して「知」をはぐくむ	社会全体で、生涯学習の理念に基づく取組を推進します	いつでも、どこでも学べる機会の充実	生涯学習の推進事業	
			成人式開催事業	21
			公民館指定管理事業	22
			図書館の充実事業	23
			婦人団体活動支援事業	24
			青少年健全育成団体支援事業	25
			人権教育講座開設事業	26
			人権教育啓発推進事業	27
			生活習慣マネジメント・サポート事業	28
			生涯スポーツの推進事業	
			地域スポーツ人口拡大推進事業	29
			スポーツ教室・健康医学講習会開催事業	30
			長門市体育協会補助金事業	31
			平成28年度全国高等学校総合体育大会開催事業	32
		ウルトラマラソン開催事業	33	
		学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の促進	地域協育ネット事業（再掲）	(9)
			放課後子ども教室推進事業	34
		次世代への地域文化の継承	文化財の保護・活用事業	35
			地域文化の継承事業	36

4 有識者の総括的な意見

有識者からは、教育委員会が行った事務事業の点検及び評価の結果だけでなく、教育行政全般についても、次のとおりご意見をいただきました。

事務事業の点検及び評価を行うことにより、教育行政に対する市民の理解と信頼性の向上、質の高い教育の提供という目的を達成できるよう、今後も改善しながら事務事業を執行していきます。

【報告書について】

- 多岐にわたる事業への真摯な取組に対し、頭の下がる思いです。
- 教育関係に専門的に携わっていない立場であり、報告書の評価等に対しては、情報不足は否めません。
- 報告書の内容（各事務事業量）に対し、点検及び評価までの期間が不足しています。
- 今後とも迅速・的確で透明性を確保した情報提供をお願いします。
- よりよい事業となるようによく検討・工夫されています。
- 丁寧にまとめられています。
- 評価目標を上回るものとしてもよいのでは。この基準はわかりにくい。
- 各事業の今後の方向性について具体的に明記してあり、わかり易くなっています。
- 教育関係についての知識、情報が貧しい私ですが、今回、携わってみて教育に関して幅広い事業があることに驚いています。評価はなかなか出来にくいですが、熱心な取組がされていると思います。今後も継続して取り組んで行われることを祈っています。他に誇れる教育委員会事業になるとよいと思います。

【教育行政について】

- 改めて教育行政の重要性を認識させられました。
- すべての面において、市民への正確な情報提供、行政の透明性が求められている時代だと思います。
- 長門市が常に最先端の教育行政を目指していただくよう期待しています。
- 子どもたちの最終的な目標は、将来社会に出た時の力をつける、自立して生きていく力をつけることです。それは、人間力の育成に他なりません。
- 学校教育で人格を陶冶するには教育行政の支援が不可欠です。よろしくをお願いします。
- 環境が人をつくるとよく言いますが、人間力を備えた人により、よりよい環境も生まれます。みんなで子どもたちのために頑張りたいものです。
- 「長門を愛する子・故郷を誇れる子を育む」事業は、より一層力を注いで欲しい。特色ある事業を推進し、取り組めるとよいと思います。

- 自然災害が多発する今日において、防災学習の取組は大切と思います。
自助・共助の学習は評価したい。
- ストレス社会といわれる現代社会では、生きる力、コミュニケーション能力といった点、心の持ち方、豊かさを育むことの大切さを親子ともに学んでいかなければいけないと思います。子育てに悩む親に、学校や家庭での悩みの相談窓口、教育講演会があることの情報発信対応がより進むとよい。教育の関心がより一層高まることを期待します。
- 地域全体で子どもたちの育ちや学びを見守り、支援する取組の推進・充実に期待しています。子どもたちが異世代間の交流や社会体験活動、文化・スポーツ活動等に取り組める体制の整備や、保護者をはじめとする地域住民が、子どもたちを取り巻く様々な現状や課題について理解を深め、互いの考えを交流することのできる機会を提供して欲しい。
また、学校では、子どもたちが学ぶ楽しさを実感できる授業の実施や、多様化する児童生徒一人一人に応じた支援ができるように取り組んで欲しい。
- 横つながりの子どもたちの社会に縦社会を参入されていくことは人間形成にとって、とても有効的だと思います。地域を利用した教育は、豊かな精神が培われ、郷土を愛する、郷土を誇れる子を育むために必要だと思います。地域の大人たちも学校に気軽に行き、子どもたちにふれあい、地域全体で育てていくようになるとよいと思います。
また、よりよい子育ては、親（現在の親は子育てより親育てが必要）育てから始める。その親を育てる教員も質の高い教員であって欲しい。質の高い教育者の養成、勉強会を考慮して行うようお願いいたします。子どもを育てる親、その親を育てる教員、質の高い教育者、やさしく思いやりのある教員が育てて欲しいので、そのような事業もお願いいたします。

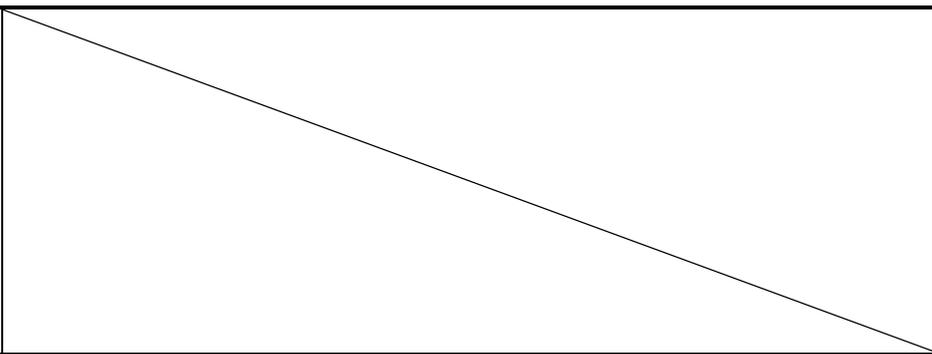
5 各事務事業の点検及び評価結果

(1) 施策の課題

施策の課題	取 組 状 況	番号
安全・安心な教育を支える環境の整備	長門市学校施設整備計画に基づき、安全で安心な教育環境整備を進めており、校舎の改築、耐震補強工事等の実施により、平成 27 年度末に構造耐力上主要な部分の耐震化率 100%を達成するとともに、非構造部材（天井・外壁など）の耐震化等を完了した。	1-5
質の高い教育を支える環境の整備	平成 23 年度から計画的に整備を進めてきた校務用パソコンについては、平成 25 年度をもって完了した。また、学校教育研究大会については、本市が目指す「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育による学校づくり」を推進するために、学校運営協議会委員及び保護者にも参加を呼びかけ、協働意識を高める場とした。	6-7
地域で子どもたちを育てる環境の整備	「地域協育ネット」の推進により、地域総ぐるみで子どもを育てる気運が高まり、地域活性化と地域住民の生きがいがいづくりにつながっている。また、家庭教育学級の研修・交流により、学級活動の推進を図っている。	8-10
知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成	学力向上のため、校種間連携と授業改善等を柱に各校の取組を推進するとともに、有効な手立てを市内全体で共有している。また、学校内の学習や読書の環境を充実させるため、非常勤の学校図書館支援員を配置している。	11-12
規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり	心に悩みを抱える児童生徒への対応や豊かな情操を養う教育を展開している。あわせて、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるように、少年安全サポーターを設置している。	13-14
特別なニーズに対応した教育の推進	関係機関と連携し専門家等の意見を踏まえ、早期からのよりよい就学に努めている。また、可能な限り通常の学級で支援を要する子どもたちへの対応を行っている。	15-20
いつでも、どこでも学べる機会の充実	人権教育セミナーをはじめ、スポーツ教室の開催など様々な学びの機会を提供するとともに、図書館・公民館事業の充実により、市民の生涯学習の推進を図っている。また、スポーツを普及・指導する団体等を活用し、誰もがスポーツを楽しんだり、学んだりできる環境の整備を行っている。	21-33
学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の促進	市内小規模小学校において放課後子ども教室を開設し、放課後の子どもの居場所づくりに取り組むとともに、地域の多様な方々の参画を得て、子どもたちとともに学ぶ学習やスポーツ・文化活動等の取組を支援している。	34
次世代への地域文化の継承	企画展の開催や学校への歴史授業などに取り組み、市民や子どもたちの地域文化に対する理解を進めるとともに、文化財の保護や伝承について取り組んでいる。	35-36

(2) 各事務事業

番号	1	主管課	教育総務課
事業名	学校施設の耐震化事業		
施策の課題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区分	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>平成19年3月に策定した「長門市学校施設整備計画」(学校施設耐震化推進計画)に基づき、耐震性の低い校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を行い、児童生徒の安全かつ安心な学習環境の整備を図る。</p>		
予算額 (決算額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	現年度予算 512,741,000円 (510,456,456円)	繰越明許予算 132,656,000円 (120,213,720円) 現年度予算 208,737,000円 (208,012,375円)	—
執行率	99.6%	96.1%	—
評価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成27年9月から三隅中学校特別教室棟の改築工事に着手し、平成28年7月26日に完成した。</p> <p>また、非構造部材の耐震化の取組として深川小学校、日置小学校、神田小学校及び菱海中学校の屋内運動場吊り天井落下防止工事を実施したことにより、学校施設の耐震化事業は完了した。</p> <p>1 小学校施設耐震化事業(支出額 74,486,520円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深川小学校屋内運動場吊り天井落下防止工事 28,867,182円 ・日置小学校屋内運動場吊り天井落下防止工事 23,998,087円 ・神田小学校屋内運動場吊り天井落下防止工事 21,621,251円 <p>2 中学校施設耐震化事業(支出額 253,739,575円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三隅中学校特別教室棟改築工事 208,012,375円 ・菱海中学校屋内運動場吊り天井落下防止工事 45,727,200円 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 学校施設の耐震化事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化事業の順調な推移に安心しています。 ・工事による児童生徒への負担を最小限に抑えていただくようお願いいたします。 ・安全で安心して使用できる施設があつてこそ、伸び伸びと思う存分活動でき、すばらしい成果が得られると思います。これからもハード面での支援をよろしくお願いします。 ・今後も点検して安全管理をしていただきたい。 ・目標通りに事業がすすめられ、安心している。 ・耐震化事業完了に伴い、全学校が安全・安心で勉学に励まれることと思います。
----------------	--

番 号	2	主 管 課	教育総務課
事 業 名	深川小学校浸水対策事業		
施策の課題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	平成 27 年 8 月 25 日の台風第 15 号により、深川小学校校舎棟及び屋内運動場が浸水被害を受けたことから、浸水原因の調査及び今後の対策・計画を作成し、浸水の防止または軽減を図る。		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	—	2,171,000 円 (2,052,000 円)	1,000,000 円
執 行 率	—	94.5 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>深川小学校浸水対策計画作成業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象範囲 <p>深川小学校校舎棟を中心に敷地内全体の施設及び深川中学校を含む下流への水路全般</p> ・対象施設の概要 <p>現況の水路（排水路）、深川中学校グラウンド</p> ・雨水の想定 <p>平成 27 年台風第 15 号の降雨検証</p> ・浸水対策工法の検討 <p>深川小学校への浸水を軽減させるため、深川中学校グラウンドを利用して流域の雨水を一時的に地表面に貯留する施設を検討した。</p> <p>また、長門市下水道整備計画の深川小学校東側水路の改修及び同小学校東側擁壁嵩上工事も検討した。</p> <p>その結果、下流域の雨水排水能力や施設の維持管理、経費面等を勘案し、深川小学校東側水路の改修及び同小学校東側擁壁の嵩上を浸水対策工法とした。</p> 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>詳細な把握が不十分であった浸水要因について、的確な分析を行い、浸水リスクを勘案した効率的な対策を検討することができた。</p> <p>平成 29 年度においては、計画内容を踏まえ、深川小学校東側擁壁嵩上工事及び同小学校東側水路の改修工事を実施する。</p> <p>また、浸水対策はハード面だけではなく、ソフト面、とりわけ緊急時における現場での人的連携は不可欠なことから、「学校防災マニュアル（風水害編）」に基づき、対応していきたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 深川小学校浸水対策事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、頻繁に発生している水害対策として、的確な分析のもと早急な対応が求められる。 ・校舎が出来上がってからの問題発生原因を詳細に検討され、すぐさまの対応を評価したいと思います。 ・「想定外、これまで経験したことのない」という警戒の情報が流れ、この頃の自然災害の大きさ、怖さがある。深川小学校の設計段階では想像もされてなかったことと思うし、今後の対応で万全とも言えない。あらゆる施設の総点検をする必要がある。 ・他の学校でも、浸水が予想される場所など日頃から注意して欲しい。 ・今年度工事予定である擁壁工事期間中、安全・安心な学習環境整備への配慮と精神的ケアをお願いします。
----------------	---

番 号	3	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校統廃合事業		
施 策 の 課 題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>学校の小規模化は、児童生徒の学校における人間関係の固定化、部活動や学校行事等における選択の制限等、教育環境として支障が生じることが想定されるため、平成19年2月策定の「長門市立小中学校適正配置方針」に基づき、統廃合により適正な教育環境が提供できる一定の学校規模の確保を図る。</p> <p>※俵山中学校の深川中学校への統合</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	6,967,000円 (6,871,855円)	2,410,000円 (2,078,445円)	2,000,000円
執 行 率	98.6%	86.2%	—
評 価 (取 組 状 況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>1 制服等購入費補助事業</p> <p>俵山中学校が深川中学校へ統合されたことに伴い、平成28年度は旧俵山中学校の2、3年生が部活動決定後に必要となるユニフォーム等の買換えに要する費用を全額補助した。</p> <p>ユニフォーム 補助人数 8人 70,045円 ハチマキ、帽子 補助人数 14人 8,400円</p> <p>2 児童養護施設における学校生活支援補助金交付事業</p> <p>児童養護施設俵山湯の家に在籍生徒への学校統廃合の対応として、深川中学校での生活支援を推進するため、学校生活支援員の雇用に係る経費を補助した。</p> <p>補助金対象者 児童養護施設俵山湯の家 補助金交付額 2,000,000円 学校生活支援員配置延べ人数 399人</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>教育委員会は適正規模の教育環境を担保するため、「長門市立小中学校適正配置方針」に基づき過小規模校の統廃合に取り組んできたが、平成27年度の俵山中学校の統廃合をもって、いったん区切りがついたところである。</p> <p>平成28年度から3年間、児童養護施設俵山湯の家に在籍生徒への対応として学校生活支援補助金交付事業を実施する。</p> <p>また、小・中学校統廃合後の校舎の利活用、管理等については、長門市公共施設等総合管理計画に基づき、効率的・効果的な管理運営を実施していく。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 学校統廃合事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いったん区切りがついたとはいえ、市内小中学校の統廃合については、将来を見据え、今後も計画的、継続的に考慮していく必要があると思う。 ・閉校舎の効率的、効果的な管理運営がなされているか疑問です。貸し出し等を含めて、有効な利用方法をもっと地域ぐるみで検討すべきだと思います。野ざらし状態でもったいない気持ちです。 ・俵山中学校との統合は、湯の家のこと、通学距離の拡大など難しい点が多かったと思われる。今後とも教育環境に支障がないようお願いしたい。 ・統廃合後の生徒へのケアは継続してほしい。 ・統廃合による保護者の負担増を軽減できてよかったと思います。 ・湯の家の支援事業も今後可能な限り続けて、実施していけると良いです。
----------------	---

番 号	4	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校給食センター運営管理事業		
施策の課題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>長門市学校給食運営方針に基づき、平成 22 年 9 月に開設した長門市学校給食センターを中心に、学校給食の衛生管理の向上と高質で安全・安心な給食の提供を図る。</p> <p>また、将来的な本市の学校給食施設の 1 センター化を検討する中で、段階的にその取組を進めていく。</p> <p>【施設】 長門市学校給食センター 対象：14 校 日置学校給食センター 対象：2 校</p> <p>【会議等】 学校給食運営委員会（各センター2 回） 献立作成委員会（11 回）、物資選定委員会（1 回）</p>		
予 算 額 （決算額）	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（当初）
	208,023,000 円 (198,202,966 円)	205,716,000 円 (200,085,564 円)	217,654,00 円
執 行 率	95.3 %	97.3 %	—
評 価 〔取組状況及び成果等〕	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>1 給食数 長門市学校給食センター 2,310 食（H27 2,340 食） 日置学校給食センター 260 食（H27 260 食）</p> <p>2 給食日数 194 日</p> <p>3 給食費 1 食当たり小学校 255 円、中学校 290 円</p> <p>4 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーへの対応 除去食・代替食 長門市学校給食センター 73 人 日置学校給食センター 10 人 ・食に関する指導目標の推進 2 名の栄養教諭と 1 名の学校栄養職員で 16 校を担当 ・地産地消の推進 地産地消率 全体 県内産 83.5 %、市内産 47.1 % 長門 県内産 75.2 %、市内産 38.3 % 日置 県内産 93.0 %、市内産 57.3 % ・施設見学会、試食会の開催 見学会 7 回 198 人 ・ながと食の日（毎月 1 回実施） ・長門市と下関市で「学校給食・くじら交流の日」を実施 H29.2.3 		

<p>課題と今後の取組</p>	<p>児童生徒の減少等に伴う給食事業の効率的、効果的な運営を図るため、学校給食施設の1センター化に向けて、深川中学校の給食調理場を平成25年度末で閉じ、平成26年4月長門市学校給食センターに統合した。</p> <p>今後は、日置学校給食センターとの統合に向け、安全・安心な給食提供をすることができる環境整備に努めていくとともに、更なる衛生管理の徹底と作業効率を維持していくため、職員の業務意識の向上を図るとともに、創意工夫と日々の課題整理により安全で安心な給食の提供に努めていく。</p> <p>また、地産地消の取組は、収穫率の低い作物（ジャガイモ、人参）や新たな品種の作付面積の拡大に取り組む等、関係機関（県農林事務所・市農林課・JA長門大津・生産団体等）との連携により栽培奨励に努めるとともに、地場産食材の使用量増加を図る。</p>
-----------------	--

〔事業名〕 学校給食センター運営管理事業

<p>外部評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食施設の1センター化に向け、早急な取組が必要と思う。今後、一層の安心安全な地場産食材の使用量増加を願います。 ・給食は地域の食文化や行事を学ぶ場だと言われています。子どもたちが食べたい物でなく、健康を考えた食べさせたい物を、そして伝えたい味に積極的に取り組んでおられる職員の皆さんに頭が下がります。食べざかりの子どもたちは、工夫された献立の旨みを一生忘れないと思います。 ・食物アレルギーの子どもが年々増えていることは、気がかりである。 ・地産地消の拡大を可能な限り望みたい。 ・地産地消について、関係機関との連携をとって増加を図っていることに期待したい。職員の方の、子どもたちにおいしい物を食べさせたいという気持ちが伝わっている。 ・今後、統合される予定のあるセンター職員数は、アレルギー対応、運搬業務等、食に関するニーズが増えつつあるので、十分に確保して欲しい。 ・今後、地産地消は続けて取り組んで行って欲しいと思います。 ・食の日も1か月に1回ではなく、2回と増やしていったらと思います。
-------------	--

番 号	5	主 管 課	教育総務課
事 業 名	通学支援事業		
施策の課題	安全・安心な教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>スクールバスを運行（旅客自動車運送事業所に委託し実施）し、学校統廃合により廃校となった小・中学校の児童生徒の遠距離通学に係る条件緩和と登下校時の安全確保を図る。</p> <p>また、小学生については概ね4km以上、中学生については概ね6km以上通学距離のある児童生徒に対し、通学に要する費用等を補助し、自転車通学が認められている児童生徒については、ヘルメット購入費を補助する等の支援を行い、通学条件の緩和と保護者の負担軽減を図る。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	39,988,000円 (37,210,990円)	49,007,000円 (46,536,787円)	49,401,000円
執 行 率	93.1%	95.0%	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>1 スクールバス運行事業（事業費 44,413,389円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行管理業務委託料（2社1法人） 37,568,894円 <ul style="list-style-type: none"> 青海島地区～仙崎小 26人、仙崎中 13人 運行台数 2台 渋木・真木地区～深川小 21人、深川中 4人 運行台数 2台 俵山地区～深川中 23人 運行台数 2台（うち1台は乗用車） 油谷地区～油谷小 55人、菱海中 35人 運行台数 4台 ・燃料費 3,292,430円 ・車検その他 3,552,065円 <p>保護者、学校、受託業者、教育委員会の4者で定期的に運行協議会を開催し情報交換を行うことで、児童生徒の安全・安心な通学を図っている。</p> <p>2 その他通学支援（事業費 2,123,398円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童通学費等補助 1,873,523円（交付対象 49人） ・自転車通学児童用ヘルメット購入費補助 0円（〃 0人） ・生徒通学費等補助 123,875円（〃 5人） ・自転車通学生徒用ヘルメット購入費補助 126,000円（〃 84人） 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>スクールバス運行管理業務については、業務価格の抑制という観点から、また、子どもたちの安全・安心な通学のためには業者が度々替わるのは好ましくないとの保護者からの意見もあったことから、平成 25 年度から 3 年間の長期継続契約とした。</p> <p>通学支援に係る補助は、地区によって基準等に差異があるが、旧市町において行われた学校統廃合の条件をもとに定められ、市町合併時にそのまま新市に引き継がれたという経緯があることから、通学費等補助及びスクールバスの利用による通学支援の基準等の統一に向けて、児童生徒の通学事情を十分踏まえ、今後も引き続き慎重に検討していく必要がある。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 通学支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通学費等の補助について、年数を経過したものについては過去の経緯にとらわれることなく、「過度」と思われるものについては柔軟に予算軽減していくべきと思います。 ・通学の運行に限らず、学校行事等の交通手段として利用できるスクールバスに大変感謝されています。毎日、利用している子どもたちにきめ細かい配慮をしていただき、ありがたい限りです。これからもよろしくお願いします。 ・安全第一で利用される方々の意見を大切にしてください。 ・過去の経緯や条件にとらわれることなく、現在の環境にあった通学支援の基準にしていきたい。 ・スクールバス運行中のバスの中や乗降時の安全の確保が大事です。運転者の安全意識は十分あるとは思いますが、安全業務に関する意識、再確認のための対策を講じる必要があります。
----------------	--

番 号	6	主 管 課	教育総務課
事 業 名	学校教育の情報化事業		
施 策 の 課 題	質の高い教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>小・中学校の情報教育用パソコンを計画的に更新し、情報教育環境を充実させることにより、情報教育の向上と円滑な推進を図り、児童生徒の情報活用能力を育成する。</p> <p>また、各学校のコンピューター室における教育用パソコンの台数については、児童生徒一人につき1台が整備済みであり、教職員の校務用パソコンについても教職員一人につき1台の整備を平成25年度に完了した。</p> <p>パソコンについて、リース方式により概ね5年毎に機器の更新を行いながら、電子黒板などの周辺機器の整備も推進していく。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	30,381,000円 (30,315,047円)	30,662,000円 (30,658,632円)	31,119,000円
執 行 率	99.8%	99.9%	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>タブレット端末導入初年度となる平成28年度は、情報担当教諭へのデモや意見聴取を行い、端末やソフトの仕様を決定した。</p> <p>また、導入校においては、あわせてグラウンドまでカバーする無線LANの整備を行い、学校敷地内でのタブレット端末の利用環境を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教育用タブレット端末、パソコン等(更新) 1,563,132円 <ul style="list-style-type: none"> 深川小学校 37台 日置小学校 35台 神田小学校 13台 ・小学校教育用・校務用パソコン(継続) 17,828,112円 <ul style="list-style-type: none"> 教育用 185台 校務用 156台 ・中学校教育用タブレット端末、パソコン等(更新) 702,276円 <ul style="list-style-type: none"> 日置中学校 37台 ・中学校教育用・校務用パソコン(継続) 10,565,112円 <ul style="list-style-type: none"> 教育用 143台 校務用 116台 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>本市で初めてのタブレット端末の導入であり、授業で活用するノウハウや経験の少なさにより、効果的な活用がなされない可能性がある。</p> <p>また、一般的に紙媒体での授業に比べ授業前の準備の煩雑さなどもあると言われており、今後、各校の活用状況を調査し、必要に応じて支援を検討していく。</p> <p>あわせて今年度以降、電子黒板を各普通学級に1台の割合で整備し、タブレット端末と組み合わせて、より効果的な授業が行えるよう周辺環境の整備を行っていく。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 学校教育の情報化事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 万全なセキュリティ対策と情報管理が必要となる。 ・ 導入にあたっての透明性もしっかりと確保していただきたい。 ・ 情報があふれる現在は知性（冷静な判断力）が必要で、知性の中に胆力があっても良いと言われています。子どもがパソコンを活用するにあたって、能力が最大限引き出されるような支援と、データ管理に万全を期して情報教育を推進して欲しい。 ・ 進歩の早い分野であるだけに、情報技術を効果的に効率的に運用され、労力の軽減、学びの向上につながって欲しい。 ・ タブレット端末の指導員の配置、それを支える周辺環境の整備が整って初めて効果的に活用できる教員も増やせるのではと思われる。 ・ 万全なセキュリティ対策もお願いしたい。 ・ 情報教育管理に万全を期するとともに、機器の取扱いを十分児童生徒に理解させた上での有効活用が出来るように指導して欲しい。
----------------	---

番 号	7	主 管 課	学校教育課
事 業 名	長門市学校教育研究大会事業		
施策の課題	質の高い教育を支える環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>平成 24 年度に全ての小・中学校をコミュニティ・スクールに指定し、公民館を中心とした地域協育ネットと両輪で、地域総がかりの学校教育を推進している。さらに、各中学校区を「〇〇みすゞ学園」として、小・中学校が密に連携しながら小中一貫教育を推進している。</p> <p>本市が目指す「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育による学校づくり」を推進するために、本研究大会では、学校運営協議会委員や保護者にも参加を呼びかけ、講演や事例発表等の研修を実施する。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	321,000 円 (275,920 円)	281,000 円 (194,460 円)	269,000 円
執 行 率	86.0 %	69.2 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>学校教育基本方針である「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育による学校づくり」について、教職員や保護者、地域住民の理解が深まってきており、学校課題の解決や教育活動の充実に結びつきつつある。</p> <p>平成 28 年度は「睡眠を中心とした生活習慣づくりの推進」を大会テーマにして、事例発表や講演をとおして、睡眠に関する学習の重要性を再認識した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 平成 28 年 8 月 23 日 (火) 午後 ・場所 ラポールゆや ・市内各小・中学校から出品展示作品 31 点 ・事例発表 生活習慣マネジメントについて 日置中学校養護教諭 板村幸子 氏 ・講演 「学力、運動能力を伸ばす睡眠教育の重要性」 広島国際大学教授 田中秀樹 氏 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>本市の学校教育基本方針に基づいた学校づくりが進むように、担当指導主事等が学校現場に出向いて、各校、各学園の成果と課題を把握しながら、指導や支援を継続する。</p> <p>平成 29 年度については、学力をテーマにして、学力向上の取組の先進事例や講演会をとおして学力向上について研修を深め、2 学期からの実践に生かしていく。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 長門市学校教育研究大会事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の見える化のための周知活動にも工夫が必要だと思う。 ・保護者間の温度差が大きいように思える。 ・自ら鼓舞する場として大切な大会だと思います。この事業の趣旨を教職員にしっかり理解させ、研究大会に臨むべきです。 ・座席は前席が教職員、後席が一般とした方が良いと思います。 ・大変よい取組である。より多くの方に関心と参加を促していただきたい。 ・平成 28 年度の大会テーマは学力向上にもつながるものだと思いますので、継続して取り組んで欲しい。 ・講演会等参加する人数は限られているのではないかと思う。多くの人に聞かせる努力も必要ではないかと思う。全家庭にも講演内容を知らせる努力もお願いしたい。
----------------	--

番 号	8	主 管 課	学校教育課
事 業 名	コミュニティ・スクール推進事業		
施策の課題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>市内 16 小・中学校全てに設置している学校運営協議会の目的は、学校と保護者・地域が一体となって「より質の高い学校づくり」と「安心安全で児童生徒がよりよく成長できる学校づくり」を目指すことである。</p> <p>各学校運営協議会の会議資料の作成費を補助するとともに、研修を通して運営協議会委員の資質の向上を図ることで、より質の高い学校づくりを目指す。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	316,000 円 (242,144 円)	306,000 円 (206,912 円)	345,000 円
執 行 率	76.6 %	67.6 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>学校・家庭・地域で核となる人材の育成を目的として、下記の研修会に参加した。</p> <p>1 やまぐち地域連携教育研修会 (長門会場) (本市から 214 名参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 8 月 23 日 (火) ラポールゆや ・事例発表 (福栄小・中学校、長門市中央公民館、大津緑洋高等学校) 指導助言 ・講演 CS マイスター 京都光華女子大学准教授 西 孝一郎 氏 演題「連携と協働のコミュニティ・スクール」 ～小中連携・一貫教育の観点を踏まえて～ <p>2 地域とともにある学校づくり推進フォーラム (本市から 24 名参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 12 月 17 日 (土) 周南市文化会館 ・実践発表 講評 文部科学省参与 貝ノ瀬 滋 氏 研究協議 コーディネーター 文部科学省参事官 廣田 貢 氏 ・平成 28 年度「やまぐち型地域連携教育」に係る 優良「地域協育ネット」表彰受賞 「油谷みすゞ学園」 <p>国や県の動向や他市町の取組状況を知ることができ、有意義な研修であった。また、コミュニティ・スクールと公民館を中心とした地域協育ネットが両輪となって進める本市の教育方針について、理解を深めることができた。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>平成 29 年度は、地域とともにある学校づくり推進フォーラムの県内開催の予定がないことから、県内各地で開催されるやまぐち地域連携教育研修会等への参加をとおして、学校運営協議会委員の学校参画意識を高めていく。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 コミュニティ・スクール推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、進化（深化）充実していると思うが、一層の理解された広がり が求められる。 ・顔が見える、話しがわかる、考え方が見える、これがコミュニティだ と言われます。外部からご支援をいただいてもあくまで学校サイドが 主であることを忘れず、地域の方々に任せっきりにならないよう出入 りをよく考えた活動を望みます。 ・意識向上につながっている。多くの方の参加、人材育成に役立てて欲 しい。 ・他の市町の取組状況を知ることができ、とても有意義な研修であると思 う。長門市のそれぞれの学校運営協議会の具体的な動き、それにつ ながる様々な仕掛けがあるとよい。 ・核となる人材育成はとても良いことなので続けていってください。今 年度は県内研修会がないということですので、研修会に行かれた人達 は良いが、裾野を広げるため、各学校で保護者対象の事業も行って欲 しい。
----------------	---

番 号	9	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	地域協育ネット事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>公民館を中心とした地域の多様な教育資源を教育現場で積極的に生かすため、社会教育団体等が行う地域活動への参加を通して子どもたちの体験活動を充実させている。</p> <p>中学校区をひとまとまりとした、地域ぐるみで子どもを育む仕組みづくりを推進する。</p> <p>【目標】地域総ぐるみで子どもを育てることで、子どもたちの「生きる力」を育むとともに、地域住民の生きがいつくりにつなげる。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	209,000 円 (204,040 円)	203,000 円 (182,307 円)	203,000 円
執 行 率	97.6 %	89.8 %	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>指定協力校区（深川中学校区、旧俵山中学校区、菱海中学校区）において、公民館型の地域協育ネットにより、校内・校外支援を行い、学校・家庭・地域が連携した活動に取り組んでおり、地域総ぐるみで子どもを育てる気運が高まり、地域の活性化にもつながっている。</p> <p>・指定協力校区 学校等を拠点とした教育支援活動実績</p> <p>深川中学校区 延べ 100 日</p> <p>旧俵山中学校区 延べ 55 日</p> <p>菱海中学校区 延べ 652 日</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>公民館職員がコーディネーターとなる公民館型の地域協育ネットを、市内各中学校区において引き続き取り組む。</p> <p>また、公民館職員のコーディネート力向上を図るため、研修会を実施する等、今後も支援していく。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 地域協育ネット事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々への継続した積極的な周知活動、働きかけが必要です。 ・「頼りになるね、ありがとう」と言ってもらった言葉が地域のために頑張ろうという原動力になると言われています。これまでも社会教育団体が地域活動に取り組んできましたが、地域協育ネットでさらに幅が広がり、質の高い活動になると思います。これから、これまでを決めると言います。より一層の発展を期待します。 ・若い方の公民館参加はとても活力となる。また、児童生徒には学校内と違った学びが出来て良い。 ・公民館と学校との連携がよくとれていて、子どもたちの体験活動も充実してきていると思う。 ・「生きる力」教育として地域活動に参加型体験教育は、今の子どもたちにできない体験もでき、いろいろと学べることで力となるのはとてもよいと思う。 ・今後も多くの体験をさせて豊かな人間形成をさせて欲しい。
----------------	--

番 号	10	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	家庭教育支援事業		
施 策 の 課 題	地域で子どもたちを育てる環境の整備		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>小・中学校及び保育園、幼稚園に家庭教育学級を開設し、学級運営に役立つ研修会や意見交換会の実施及び幼児期の学習支援、相談事業を実施している。</p> <p>【目標】家庭の教育機能の向上と幼児・児童・生徒の健全育成</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	539,000 円 (416,800 円)	545,000 円 (418,000 円)	545,000 円
執 行 率	77.3 %	76.7 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各家庭教育学級では、学級生の確保や講座の内容について苦勞されながらも、市の補助基準に沿って確実に実施されているところである。</p> <p>(小学校 11 校、中学校 5 校、幼稚園 2 園、保育園 2 園 実施)</p> <p>意見交換会や合同研修会など家庭教育学級生の学習会を開催したことにより、学級の運営について理解が深まり、工夫された運営につながった。</p> <p>また、家庭教育学級の活動を理解していただくために、就学時健診時に家庭教育アドバイザー有資格者による説明会を、平成 26 年度より実施している。幼稚園・保育園に対しては、年度末に子育て支援課が開催する幼保園長会議において説明を実施している。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>幼稚園及び保育園における学級開設に向け、社会教育指導員が園長会議に参加し説明を行い、活動を支援する。</p> <p>子育て学習会や親子参加型の行事、相談対応、情報提供などに積極的に社会教育指導員、家庭教育支援チームが連携することで、子育てや家庭教育をしっかりとサポートしていく。</p> <p>質の高い学級運営をしていただくため、必要に応じて個別指導や学級が運営する行事に家庭教育担当の社会教育指導員が積極的に参加し、学級（学校）との良好な関係を築く。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 家庭教育支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に中学校の在り方、活動内容について、「家庭教育機能の向上」につながっているのか、内容の精査が求められる。 ・発展的に捉え、地域協育ネット事業に統合すれば良いと思います。 ・幼稚園・保育園から参加が増えていき、小・中学校への発展により広がりが出てくると良い。 ・幼稚園・保育園の学級開設は、幼稚園・保育園の先生方の負担を増やさないように家庭教育アドバイザーなどの支援を積極的に取り入れて欲しい。 ・家庭教育学級の活動は、今後も継続して行って欲しい。
----------------	---

番 号	11	主 管 課	学校教育課
事 業 名	「確かな学力」育成サポート事業		
施 策 の 課 題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>児童生徒の学力向上に向け、より質の高い授業を提供することが重要である。そのために、教員を先進的な取組を行う学校への視察や研修会に参加させ、校内での研修体制の充実に役立てるとともに、市内の学校にも還元する。</p> <p>さらに、学力向上プラン検討会を年間2回実施し、PDCA サイクルにのせて授業改善、学習習慣づくり、補充学習などの取組を充実させることで、児童生徒の学力の向上を図る。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	638,000 円 (471,036 円)	638,000 円 (543,760 円)	635,000 円
執 行 率	73.8 %	85.2 %	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各みすゞ学園から1名ずつ計5名が、学力向上に向けた研修視察を行い、小中連携した研修に生かしたり、各校の児童生徒の課題解決に向けた授業づくりの強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田市立南第一小学校、鶉の岬カントリープラザ（浅田小） ・お茶の水女子大学附属中学校（菱海中） ・岐阜大学教育学部附属小学校（通小） ・横浜市立南高校附属中学校（日置中） ・全国中学校理科教育研究大会 群馬大会（深川中） <p>視察を行った教員は、所属校の校内研修で報告や授業公開等により広く還元方策を行ったり、プラン検討会で市内各校へ報告し協議を行った。</p> <p>○1回目（6月16日） 演 題：学力向上に向けての組織的な取組について 指導者：山口市立鴻南中学校教諭 大田 誠 氏</p> <p>○2回目（12月26日） 先進校視察の報告をするとともに、各校の取組状況を発表、協議した。 指導者：やまぐち総合教育支援センター研究指導主事 中谷靖彦 氏 本市が目指す「わかる・できるを実感できる授業づくり」の考え方が浸透するとともに、分からないことを積み残したままにしないための補充学習がどの学校でも行われるようになる等、市全体の学力が向上しつつある。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>各みすゞ学園の小・中連携に向けた具体的な取組や、授業改善、更には校内研修の充実に結びつく研修先が選定できるように担当指導主事が指導を継続する。</p> <p>授業改善や学力定着に向けた取組は充実しつつあるが、学校や教員によって意識や取組に差がある。学力向上プラン検討会では、研修や情報交換にとどまることなく、各校の課題解決に向けた具体的な取組につながる検討会としたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 「確かな学力」育成サポート事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な取組が望ましい。 ・各校の課題は様々だと思うので、それぞれの学校が具体的な取組の実施へとつながる検討会でなければならない。 ・学力はまずしっかり基礎を教え、それが身につくのはじめて主体的・対話的・深い学び（アクティブ・ラーニング）につながり、知識の幅が広がっていくと思います。教師の教え方、生徒の学び方について、質的向上をめざした、このサポート事業は大変すばらしい支援だと思っています。 ・苦手意識の強まる中学2年生問題は、注意したい事項です。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>つまずきやすい時期：中学2年生 中学1年生の半ばから数学や英語でつまずきやすい内容が 出始め苦手意識が生まれやすい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・市全体の学力の向上につながっていることは大変良いことである。 ・児童の側に立って、わかる授業・楽しい授業になるように取り組んでほしい。 ・学校教育の意識差は当然あると思うが、学力の向上、質の高い教育、学校への思いは一緒だと思う。職員間の十分な話し合いや誰でも一言話せる会議と中味の濃い会議を持って欲しい。 ・はつらつとした元気な職員になって欲しい。そのためのサポートも十分に行って、みんな違って、みんないい精神を。
----------------	--

番 号	12	主 管 課	学校教育課
事 業 名	学校図書館支援員配置事業		
施策の課題	知識、思考力・判断力・表現力、学習意欲等の「確かな学力」の育成		
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>学校図書館の図書整備やいつでも自由に本が読める図書コーナーの設置等、図書館担当教員と協議しながら校内の学習や読書の環境を充実させるために、非常勤の学校図書館支援員を配置する。</p> <p>平成28年度は、仙崎小学校、明倫小学校、日置小学校に配置した。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	—	531,000円 (438,440円)	531,000円
執 行 率	—	82.6%	—
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>1 配置校 仙崎小学校、明倫小学校、日置小学校 各校に週1日4時間、年間40日勤務</p> <p>2 活動内容 図書の修理・整頓・廃棄、図書室だよりの発行等による広報活動、図書コーナー(みすゞコーナー、教科書に出ている図書のコーナー等)の設置、ブックトーク、読み聞かせ、掲示物の作成等</p> <p>3 成果 配置校の管理職や図書館担当教員と協議しながら、さまざまな取組をしている。図書室の環境が格段によくなるとともに、児童が本に興味を持つようになり、図書室への来館者や貸出数が目に見えて増えている。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>新規事業であるが、配置校からの評価は大変高く、平成 29 年度の継続配置や新規配置を希望する学校が 9 校（小学校 8 校、中学校 1 校）あった。</p> <p>配置校の図書ボランティアや市立図書館との連携を進めるなどの工夫を行い、本事業の成果をさらに高めていく。また、学校図書館支援員の拡充を実現するため、本事業 2 年間の実績と効果を客観的に検証するとともに、成果を市内全小・中学校に波及させていく必要がある。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 学校図書館支援員配置事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書離れが進む中、特に小学校から充実させていくべき事業と思う。 ・ 小学生は昼休み、放課後、中学生は昼休みだけの利用が現状です。この事業で子どもたちの本への興味関心が高まり、しっかり読書する機会が得られることは素晴らしいと思います。ただ、支援が週 4 時間、これはあまりにも短すぎるのではないかと思います。 ・ 素晴らしい新規事業である。学校図書館支援員の増員、配置校が増えると良い。 ・ 子どもたちが豊かな読書活動を行うためにも、学校図書館支援員の役割はとても大きいと感じた。学校図書館支援員の拡充を実現していただきたい。 ・ 学校図書館支援員を拡充していけるように努力をして欲しい。 ・ 図書の良さを子どもたちに知らせて、本離れを止めて欲しい。
----------------	---

番 号	13	主 管 課	学校教育課
事 業 名	教育支援センター事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>社会情勢が急激に変化する中で、本市においても、全国出現率より低いものの、心に悩みを抱えている児童生徒が存在している。そこで、教育委員会内に設置された「教育支援センター」で教育相談員が電話や来所、訪問による相談のできる限り対応するとともに、不登校児童生徒・保護者・教職員への教育支援活動を行う。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	5,622,000 円 (5,537,783 円)	5,959,000 円 (5,681,153 円)	6,328,000 円
執 行 率	98.5 %	95.3 %	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>「教育支援センター」の相談対応の年間延べ件数は、電話対応も含めて、503 件 (平成 27 年度は 227 件) であった。通室児童生徒の支援だけでなく、保護者・教職員からの相談にも対応している。学校や関係機関との密接な連携により、不登校児童生徒が大幅に減少するとともに、学校に復帰できたり高校進学ができた生徒も増加している。このような実績から、「教育支援センター」への信頼は増している。</p> <p>[長門市内]</p> <p>不登校児童生徒 平成 25 年度 小学生 2 人、中学生 23 人 平成 26 年度 小学生 3 人、中学生 15 人 平成 27 年度 小学生 2 人、中学生 15 人 平成 28 年度 小学生 4 人、中学生 9 人</p> <p>[教育支援センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校、ひきこもり状態から通室できるようになった生徒 3 名 ・通室により学校への登校ができるようになった生徒 2 名 ・通室により高校進学に至った生徒 7 名 (公立・私立高校 7 名) 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>学校と家庭・関係機関との連携を一層図り、個々のニーズに即応できる支援体制を構築していくことが求められる。</p> <p>家庭環境の問題等、学校だけでは解決が難しいケースが少なくない。各校の教員はもとよりスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、子育て支援課などとの効果的な連携を行う。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 教育支援センター事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場の方の連携が重要だと思います。 ・大切な事業であり、一層の充実を図っていただきたい。 ・様々な悩みを抱え込んだ子どもたちが数多くいる中、教育支援センターの設置は必要なシステムです。よく連絡を取り合って任せっきりにならないよう子どものために協働して欲しいと思います。 ・相談件数の増加は、良いか悪いかわからないが、不登校生の減少は評価できる。 ・相談件数や対応後の実績を見ると成果は上がっていると思われるし、支援センターの役割はとても重要である。ただ、教育支援センターが教育委員会内にあるということで、相談しづらいと感じている子どもまたは保護者もいるのではないかと思う。 ・今後、益々教育支援センターが必要になってくると思われるので、充実を図って欲しい。不登校となった児童生徒の把握を早くできるようになり、早期対応をしていく。通所できない子どもの対応も必要ではないかと思う。
----------------	---

番 号	14	主 管 課	学校教育課
事 業 名	いじめ問題等対策事業		
施 策 の 課 題	規範意識を養い、豊かな心と健やかな体づくり		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>深刻化するいじめ問題や不登校等の解決に向け、関係機関が連携して解決に向けて努力しているが、本市においても、いじめ問題や不登校は現存している。そのため、市としてこれを重要課題として位置付け、教育相談員（臨床心理士）1名を配置し、児童生徒や保護者・教職員の相談にあたり、各事例の改善を図る。</p> <p>また、児童生徒のいじめ等生徒指導上の諸問題の未然防止や早期解決及び安全確保のため、少年安全サポーターを配置し、月12日の勤務を行う。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	939,000円 (877,790円)	2,543,000円 (2,200,919円)	2,642,000円
執 行 率	93.5%	86.5%	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>教育相談員が子どもの心の問題や親の悩み等の解決にあたり、個々の対応で児童生徒及び保護者の心の安定が図られた事例が多い。特に、発達障害に係る不登校に関する親の相談等、専門的な知見からの助言は効果的である。以下に示す相談対応件数以外にも「教育支援センター」との連携を図り、的確な助言により、学校の組織的な対応に貢献している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 相談対応件数 1,219件 (不登校、登校渋り、いじめ、友人関係、発達障害、性格、病気等) ・平成28年度 教育支援センター会議 6回 <p>俵山中学校の深川中学校への統合に伴い、深川中学校を中心に少年安全サポーターが市内全小・中学校を訪問し、不登校や暴力行為の未然防止に向けて取り組んだ。また、避難訓練、防災訓練、校外パトロールなど学校安全対策の強化を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度避難訓練、防災訓練実施件数 20件 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>人間関係づくりに困難が見られる事案、発達障害に起因する事案や家庭環境により解決に時間を要する事案など、継続的に個別対応が必要な児童生徒・保護者のニーズは依然として多い。また、肉親の突然の喪失、DV など緊急を要する事案にも早急に対応しなければならないことから、今後も教育相談員（臨床心理士）の配置が必要不可欠と考える。</p> <p>また、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにするために、継続して少年安全サポーターを配置する。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 いじめ問題等対策事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員（臨床心理士）の配置は不可欠です。 ・各機関等の綿密な連携により、潜在化されている問題を見つけ出していく努力が必要である。 ・教育相談員の助言・対応は大変勉強になるありがたい事業だと思います。いじめをしてしまう心の根っこ、いじめをしている児童生徒の背景に寄り添った対応、教員と教育相談員で協働して問題解決に努められる事業だと思います。 ・いじめはわかりにくく、潜在化しているように思われる。現代社会の子どもの感性やインターネットでの交流は世代でのギャップを感じる。カウンセラー、教育相談員と連携を深め、情報の共有、対応の早さに心がけていただきたい。 ・いじめの問題について、保護者としてはどういう対応をしたらよいか、考える場があれば良いと思う。 ・マスコミにいじめ問題のことが出ていたが、表に出てくるのは少ないと思われる。各学校で隠すことはないだろうと思うが、いじめ等真剣に取り組んでいけるよう各学校に徹底して欲しい。
----------------	--

番 号	15	主 管 課	学校教育課
事 業 名	特別支援教育の充実事業		
施 策 名	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	センター校（萩総合支援学校）やサブセンター校（仙崎小学校）の地域コーディネーターが幼稚園・保育園や小・中学校を巡回訪問したり、各種発達検査や教育相談を実施したりするとともに、教職員を対象とした校内研修会や事例検討会、校内コーディネーター・特別支援教育補助教員を対象とした研修会を実施するなど、研修の充実を図る。また、市内年中児を対象として年5回の「5歳児すこやか相談会」を実施し、教育委員会を中心としたよりきめ細かな体制を構築し、早期支援とスムーズな支援につなげていく。		
予 算 額 (決算額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	344,000円 (196,136円)	348,000円 (226,053円)	338,000円
執 行 率	57.0%	65.0%	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	1 巡回訪問・要請訪問等 ○サブセンター校（仙崎小学校）のコーディネーターの現況 ・要請訪問による発達検査・教育相談（本人・保護者・教員） 28件 ・校内研修・事例検討会 12件 ・巡回訪問 31回 ○センター校（萩総合支援学校）のコーディネーターの現況 ・要請訪問による発達検査・教育相談（本人・保護者・教員） 75件 ・巡回訪問 5件 2 研修 ○市幼保特別支援教育研修会 5月26日 ・講演：長門市における特別支援教育の現状について 講師：山口県立萩総合支援学校地域コーディネーター 溝部真有美氏 長門市役所健康増進課保健師 福田真由美氏 児童デイ・ケアセンターあゆみ「きらり」代表 村岡章氏 ○市特別支援教育補助教員・校内コーディネーター研修会 8月2日 ・講演：発達障害のある子どもへの理解と支援 ～インクルーシブ教育システムと合理的配慮～ 講師：ふれあい教育センター主査 中村知史氏 ・グループ別シェアリング ・合理的配慮協力員による取組の事例発表 3 5歳児すこやか相談会 第1回 8/25 4名 第2回 9/ 1 5名 第3回 9/ 8 5名 第4回 2/ 2 4名 第5回 2/ 9 4名 計22名 5歳児すこやか相談会では、配慮や支援が必要な児童の情報が小学校に共有されることで、児童も保護者も安心して小学校生活をスタートすることができた。		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>特別な支援を要する園児や児童、生徒が多い中、地域コーディネーターによる訪問支援（巡回訪問・要請訪問）は各園・各校にとって必要不可欠である。特別支援学級へ在籍する児童生徒、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加する中、保護者との相談や教職員への指導・助言もさらに充実させていく必要がある。</p> <p>5歳児すこやか相談会は、各地域の保健師と協議しながら、幼児の実態や保護者の希望に即して行い、就学に向けて必要に応じた適切な支援につながるようにしていく。また、地域コーディネーターを中心に個別の教育支援計画の作成を通して、相談支援の充実と相談後のフォローアップに一層努め、各小・中学校における校内コーディネーターを中心とした支援体制を強化していく。</p> <p>引き続き、福祉課、子育て支援課、保健センター、各種支援事業所とは定期的に情報共有会議を開催し、就学前の幼児、就学後の児童生徒の情報を共有しながら、早期の支援につなげていきたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 特別支援教育の充実事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育レベルの判断材料の一つともいえる事業である。本事業の更なる充実、強化を図っていただきたい。 ・どの子にも発達段階に応じた最適の指導で、今身につけさせるべき事は何が大切か、教員全体でしっかり認識し支援しなければなりません。この事業で地域コーディネーター、校内コーディネーターを中心に共通理解でき、教員の専門性が高められるすばらしい事業だと思います。 ・大事な取組であり、保護者の安心感につながっていて良好な関係づくりができていると思う。今後とも活躍を期待する。 ・教育支援委員会事業とともに、切れ目のない支援体制をお願いしたい。 ・すこやか相談会をもっと気楽に相談できるように取り組んで欲しい。 ・早期発見・早期対応は良いことと思います。
----------------	---

番 号	16	主 管 課	学校教育課
事 業 名	夏季教育研修講座事業		
施 策 の 課 題	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>今日、「生きる力」、「心の教育」、「特色ある学校づくり」など、教育の質的転換が求められている。その解決のためには、地域総ぐるみで教育に係る必要がある。各界で活躍されている先達の生き方や考え方に直接ふれる機会をもつことができるよう、夏季休業中に講師を招聘して4つの研修講座を設ける。教職員のニーズに合った講座にすることにより、早期の課題解決につながる研修の場とする。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	157,000 円 (143,024 円)	170,000 円 (140,330 円)	169,000 円
執 行 率	91.1 %	82.6 %	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>2日間の講座選択という日程で設定した。また、全講座において、一般の方や保護者も参加できるようにし、教養を広めることができる講座とした。</p> <p>講座④については、人権教育担当及び採用3年目までの教員は、必ず受講することとした。</p> <p>講座① 7月25日(月)「夢を見つめること」 冒険家 西野旅峰 氏</p> <p>講座② 7月25日(月)「社会が求めるコミュニケーション力」 福岡ホスピタリティ&ブライダル専門学校講師 天野暢恵 氏</p> <p>講座③ 7月26日(火)「特別支援教育から考える通常学級の授業づくり・学級経営」 兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授 宇野宏幸 氏</p> <p>講座④ 7月26日(火)「あーよかったな あなたがいて ～優しさという温かい貯金～」 尼崎市教育委員会教育委員 中島正教 氏</p> <p>教職員のアンケート結果では、学校現場での実践に役立ち、充実した講座であったと全体評価も高かった。また、保護者、地域の方の評価も高い。受講者が講座を選択する方法で実施しているが、受講者を指定するやり方についても、肯定的な意見が多かった。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>講座については、本市学校教育の目指す姿や、教育の今日的課題であるいじめ問題や特別支援教育など、教職員のニーズに関連した内容にしてきた。</p> <p>今後も内容を吟味し、地域総ぐるみで、現在かかえる多様な課題の解決につながる内容の講座とする。また、新学習指導要領への対応を考慮した研修内容にも取り組む必要がある。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 夏季教育研修講座事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者指定のやり方は、今後も継続していくべきである。 ・一般の方の多数の参加のための周知活動の強化を望みます。 ・素晴らしい講師を招聘し実施される研修ですから、原則全員、全講座参加とすべきだと思います。教師力を磨く絶好の機会だと認識して臨むべきです。 ・夏季の時期を有意義に使い意見交換して、研修に充実度を増してください。 ・一般の方や保護者が参加できるようになったので、学校の課題など教職員と共有できるのは良い。 ・今後の取組に賛成です。内容は、もっと身近で親しみやすい内容であってもよいのではないかと思います。
----------------	---

番 号	17	主 管 課	学校教育課
事 業 名	教育支援委員会事業		
施 策 名	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>学校教育法施行令第18条の2（保護者等の意見聴取）に基づき、長門市教育支援委員会（旧就学指導委員会）を設置している。教育学、医学、心理学、その他の就学に関する専門的知識を有する者等、教育委員会が委嘱した16人以内の委員をもって組織し、過半数以上の出席で年に5月、11月、1月の3回実施する。専門家の意見をもとに、児童生徒のよりよい就学につないでいく。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度（当初）
	204,440円 (128,940円)	144,000円 (125,020円)	150,000円
執 行 率	63.1%	86.8%	—
評 価 〔取組状況 及び成果等〕	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>教育支援委員会を年3回開催した。特別な支援を要する児童生徒の適切な就学に資するため、専門的な立場から検討に時間をかけて慎重な審議をしていただいている。</p> <p>特に、次年度の就学に関わる第2回の教育支援委員会はかなりの時間を要するが丁寧に協議をいただいている。3学期にも新規に次年度の就学に関わる児童生徒についての協議を行った。</p> <p>【要検討児童生徒数】 平成28年度150名 (平成26年度133名、平成27年度121名)</p> <p>○第1回 5月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度就学指導状況及び28年度の就学状況について 就学に係る協議 15名 <p>○第2回 11月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級在籍児童生徒の就学状況について 74名 新入学児童生徒の教育支援について 22名 就学に係る協議 22名 <p>○第3回 1月12日</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学に係る協議 14名 その他、臨時委員会で3名の審議 <p>学校や保護者の急な要望にも対応することで、児童生徒にとって適正な就学につながっている。また、適切な支援によって集団への適応力が増して、特別支援学級から通常学級に措置替えをした事例もある。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>例年、就学時健康診断において特別な支援が必要ではないかという結果が出ながらも、保護者の理解が得られないために教育支援委員会に挙げられないケースがあることから、平成28年4月から規則を改正し、教育支援委員会に市の保健師を加えた。今後も幼稚園・保育園並びに保健師との連携を深め、早い段階から療育に結びつけたり、保護者との合意形成を図ったりできるようにしていきたい。</p> <p>年度内でも複数回継続して審議したり、年度を越えて審議したりする児童生徒もおり、より適切な就学となるよう協議を重ねていただいている。就学後も児童生徒の成長や保護者の思いを尊重しながら丁寧に対応していきたい。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 教育支援委員会事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家を加えた委員会への期待は大きいと思います。関係者間の綿密な連携・協同が不可欠です。 ・ その子にとってどうすることが最善か、早い時期からの療養はとても大切だと思います。専門家の助言でベストの支援がなされており、評価できます。 ・ 教育支援委員会に保健師が加わり、慎重・丁寧さが増したと思われる。今後とも保護者の立場に寄り添って進めていただきたい。 ・ 保育園等との連携や、保護者への配慮など支援が以前よりは行き届いているのを感じている。 ・ 今後も慎重で丁寧な対応をお願いしたい。 ・ 特別なニーズに対応した教育の推進を今後も続けていってください。
----------------	--

番 号	18	主 管 課	学校教育課
事 業 名	研究指定校補助事業		
施 策 の 課 題	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>各校からの応募申請に基づき、本市教育推進にふさわしい研究に対して、研究指定を行う。</p> <p>学力向上、みすゞ教育（心の教育）、特別支援教育等を視野に入れた研究課題を設定し、全ての領域において研究及び実践を推進し、その成果を本市小・中学校に広める。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（当初）
	800,000 円 (800,000 円)	600,000 円 (600,000 円)	600,000 円
執 行 率	100 %	100 %	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成 28 年度：6 校を指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上（明倫小、神田小） 200,000 円 ・ 心の教育（仙崎中、菱海中） 200,000 円 ・ 特別支援教育（油谷小） 100,000 円 ・ へき地複式教育（俵山小） 100,000 円 <p>それぞれの研究指定校で、先進校視察や授業研究等が計画的に行われ、その成果として、学力向上やみすゞ教育等各領域の推進につながった。</p> <p>取組についての成果還元方策として、指定校の成果物である研究集録を市内各校に配付した。また、指定校によっては、公開研究会を開催し、参加者に成果を普及する取組がみられた。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>各校からのニーズが多く、毎年、多くの学校が応募申請書を提出している。研究指定校決定については、学校の現状や立場を考慮し、優先順位をつけていくとともに、決定に至る過程について説明責任を果たすことが必要である。</p> <p>平成 29 年度は、予算の範囲内で領域を広げ、指定校の枠を 6 校から 8 校へ増やし、各校の研究課題やテーマのニーズに応じていくようにしている。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 研究指定校補助事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各校のニーズに応じていくとともに、それぞれの研究成果の効果的で迅速な普及が大切だと思います。 ・各校が様々な研究を行っている中で、この補助事業は大変ありがたい支援です。研究成果は、ステップアップして次年度にもつながっていきますので、今後とも是非継続して欲しいと思います。 ・指定校の枠、予算を増やしてもよいのではないかと思う。 ・各校の課題や、児童生徒の実状に基づいた研究会であって欲しい。 ・継続と増校をお願いします。
----------------	---

番 号	19	主 管 課	学校教育課
事 業 名	子ども教育ゆめ基金海外派遣事業		
施策の課題	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	グローバル化する社会において、英語でのコミュニケーション能力が重要度を増していることに鑑み、基礎から一歩進んだ実践的な英語のコミュニケーション能力を養う場を提供するため、市内中学生を派遣する。		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	1,479,000 円 (1,354,980 円)	1,511,425 円 (1,511,425 円)	1,928,000 円
執 行 率	91.6 %	100 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	平成 28 年度：応募生徒 12 名（平成 27 年度は 8 名） 派遣人数 2 名（中学 3 年生 2 名） ○研修先 米国（ユタ州ハリケーン市） ○研修内容 <ul style="list-style-type: none"> ・英語研修：現地校での英語レッスンや授業体験 ・ホームステイ：同じ世代の子どもがいる家庭にホームステイする。 ・アクティビティ：スノーキャニオンハイキング ○日程 平成 28 年 8 月 7 日～8 月 24 日（22 日帰国予定であったが台風第 9 号のために足止めがあり 2 日遅れの帰国となった。） 出発日を例年よりも遅い日程にしたので、3 年生が参加しやすくなり、応募数が増えた。 参加した生徒 2 名による事後の評価は、派遣先、研修内容等最高評価をつけており、この機会を日頃の学習に活かしたいと考えている。 さらに、両名とも将来英語教師になりたいという思いをより強くした。		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>一人あたりの派遣経費が高額であるために、2名しか派遣することができないことから、平成29年度から各校1名ずつ派遣できるよう、山口県が経済交流を推進しているベトナム国に派遣できるよう準備を進めている。ネイティブイングリッシュの質や治安の安定、物価の状況などを考えるとベトナム国が良いと考えている。</p> <p>部活動があるため、参加しにくい生徒もいるのが実情であり、本事業の価値づけをしっかりと各校へ知らせながら、日程等についても検討していきたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 子ども教育ゆめ基金海外派遣事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から参加者を各校1名ずつとする派遣計画については、枠が広がり良いことだと思います。 ・参加者の選定については、透明性を確保していただきたい。 ・グローバルな感覚を身につけるすばらしい事業だと思います。参加した生徒は、これまでの見方、考え方が一変するのでは。「夢を力に」「力に夢を」今後の人生の糧となる研修だと思います。 ・これからの時代に欠かせない取組である。より多くの生徒が参加できるようにしてほしい。 ・平成29年度から各校1名ずつ派遣することや、派遣先についてもよく検討されていて良いと思う。 ・消極的な生徒が多い気がするので、応募者がいない学校は、先生側から推薦するなどの方法がいいと思う。 ・派遣先の安全確保は十分考えて、よりよい経験をさせて欲しいと思います。
----------------	--

番 号	20	主 管 課	学校教育課
事 業 名	防災教育推進事業		
施 策 の 課 題	特別なニーズに対応した教育の推進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>地域防災の充実や担い手の育成を目標として、平成 24 年度から市内各中学校の代表生徒（中学 1, 2 年生）を募り、夏季休業中の 3 日間で被災地である宮城県南三陸町と本市と隔年おきに往来する中で、中学校の生徒や教職員との積極的な交流（視察や防災訓練参加等）を図ることをとおして、地域防災に対する理解や意識を高めてきた。</p> <p>平成 28 年度は、被災地の南三陸町に行き、被災地の実際の様子を視察したり、ボランティア活動に参加したりするなどして、地域防災の意識の高揚を図った。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	886,000 円 (857,729 円)	2,019,575 円 (1,541,200 円)	1,094,000 円
執 行 率	96.8 %	76.3 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>○実施日 平成 28 年 8 月 17 日 (水) ~19 日 (金)</p> <p>○実施場所 宮城県本吉郡南三陸町</p> <p>○参加者 長門市内の中学生 15 名 (各校 3 名)、中学校教員 3 名 防災危機管理課 1 名、学校教育課 1 名 宮城県南三陸町の中学生</p> <p>○研修内容 ・震災時の様子を聞く (語り部の話) ・南三陸町の防災教育 (避難訓練の実際と説明、熟議) ・ボランティア活動の実際 (活動への参加と熟議)</p> <p>参加した生徒たちは、南三陸町の震災の実際について五感をとおして体験できたことは、高い意識をもって地域防災に取り組もうと意識化できたり、長門市の防災の担い手として自覚できたりした。</p> <p>また、自分の地域の人たちと一緒に防災について考えたり訓練をしたりしたい、地域防災の担い手として何か役に立ちたいという感想が多く見られたことは大きな成果である。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>これまでの事業実施により、中学生の防災に対する意識は高まったが、地域を巻き込んだ活動に発展させることが課題である。本事業で学んだことを地域へ情報発信し、中学生だけでなく多くの市民にも防災の意識を高める必要がある。</p> <p>事業最終年度となる平成 29 年度は、南三陸町の生徒を本市に招いて、地域を巻き込んだ防災活動に発展させるための研修や熟議を行う予定であり、これまで 5 年間の本事業の取組と成果を総括できるようにしたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 防災教育推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域を巻き込んだ防災活動の現状」という点では疑問が残る。 ・本事業の地域発信の強化と「地域が一体となった防災活動」にもっと取り組むべきと思う。 ・被災地訪問で得た知識や感じた思いをしっかりと伝え、いざという時に備えられる生徒の育成がとても大切だと思います。今後とも是非事業を継続してください。 ・地域とともに防災活動ができるとよい。高齢化社会の進んだ長門市には、特に若い力と知恵を出して社会全体の取組として広げていきたいものです。 ・学校施設が指定緊急避難場所になっているので、学校を拠点とした地域を巻き込んだ防災訓練は積極的に取り組んで欲しい。 ・交流により学んだ成果を、他の場でも発表して欲しい。 ・多くの知識を学び、高齢化する現状、いざとなったら各地域のリーダーとして活躍してもらえたら。頼もしい生徒を望みます。
----------------	---

番 号	21	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	成人式開催事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>市として新成人のお祝いをする。</p> <p>【期 日】平成 29 年 1 月 3 日（火）</p> <p>【会 場】ルネッサながと</p> <p>【対象者】375 人（平成 8 年 4 月 2 日生～平成 9 年 4 月 1 日生） 出席者 297 人（出席率 79.2%）</p> <p>【内 容】式典、アトラクション、記念撮影、メッセージボード設置 図書カード（記念品）</p> <p>【目 標】社会人としての自覚を促すとともに、長門市に愛着を持って もらう。</p>		
予 算 額 （ 決 算 額 ）	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（当初）
	1,112,000 円 (1,034,961 円)	1,075,000 円 (1,032,134 円)	1,129,000 円
執 行 率	93.1 %	96.0 %	—
評 価 （ 取 組 状 況 及び成果等 ）	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>実施後のアンケートによると良い評価が式典 42%、お楽しみ抽選会が 42%、ミニライブ 45%、ロビーでの催し 39%と約半数の成人者から良い評価をいただいた。</p> <p>長門市出身で県内外で音楽活動をされている重村綾二さんのミニライブ及び市内事業所より提供いただいた景品による抽選会の実施、ロビーに恩師からのメッセージボードを設置した。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>アトラクションには、地元の団体等から出演の協力をいただいている。 お楽しみ抽選会においても、現在 8 社に協力してもらっているが、他の企業からも協力したいとお話があったので、より多くの地元企業の参加をいただき、新成人に地元企業の PR を行いたい。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 成人式開催事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域企業に協力いただき、PR を行うことは良いことだと思う。 ・ 新成人に対する「自覚と責任」という主旨を今以上に前面に出したイベントにすべきである。 ・ 社会人としての自覚を促す式典なので、もっと心に残る決意を新たに する内容にして欲しい。 ・ 県外で生計を営んでいる人も多い中、誇れるふるさと長門市のすばらしさを 上映すると良いと思う。（ほっちゃんテレビのふるさと探訪、各記念館） ・ 日程として集まりやすく、郷土愛に満ちた会である。この機会を活用して 長門市に定着する若者が増えるアピールをしていけたら良い。 ・ 地元企業の協力を得たり、色々と工夫もされ、努力されている。 ・ 長門市では、他地域のテレビで紹介されるようなことを聞いたことが ないので安心してはいますが、この状態を続けていけると良いと思います。 ・ 成人を機に親への手紙を書いたら良いと思います。
----------------	---

番 号	22	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	公民館指定管理事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>地域住民に公民館の管理・運営を委託する。</p> <p>【対象公民館】①俵山公民館 ②仙崎公民館</p> <p>【管理団体】①俵山地区発展促進協議会 ②仙崎振興会</p> <p>【委託期間】①平成27年4月1日～平成30年3月31日 ②平成28年4月1日～平成31年3月31日</p> <p>【目的】地域住民による公民館を中心とした社会教育の充実と地域の活性化</p>		
予 算 額 (決算額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	11,577,000円 (11,577,000円) ① 11,577,000円	23,031,000円 (23,031,000円) ① 11,618,000円 ② 11,413,000円	23,466,000円 ① 11,662,000円 ② 11,804,000円
執 行 率	100%	100%	—
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>俵山公民館における利用者数は、平成28年度も6千人を超え、学習拠点としての役割やNPO法人ゆうゆうグリーン俵山と連携した地域づくり事業により、地域の拠点として重要な役割を担っている。</p> <p>また、俵山地区以外の公民館関係者(職員・公民館企画運営委員等)による視察等を受け入れ、地域づくり活動を展開していく中での公民館のあり方、関わり方についての情報交換を行うことができた。</p> <p>平成28年度からは仙崎公民館が指定管理者制度を導入しており、地域住民の公民館を中心とした活動による地域の活性化に期待したい。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>地域課題の解決に繋がる公民館活動を展開する上では、地域をけん引するリーダーやコーディネーターの人材育成が必要であるため、引き続き各種研修会への参加や開催に取り組むよう指導する。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 公民館指定管理事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に期待ができると思う。 ・予算に対する使用状況の透明性・監査体制については、厳格に行っていただきたい。 ・住民ニーズに応じた取組、地域発の各種行事の推進など、地域の交流学習拠点として自主的、自発的、自治的に活動されている素晴らしい事業だと思います。 ・人材育成等については、社会教育主事を積極的に活用すると良いと思います。 ・各地に広がり、活力ある地域ができると良い。 ・俵山・仙崎公民館の取組が他の地域の参考になる様に、今後も期待したい。 ・公民館が地域住民型となりつつある。公民館を地域住民委託となると、そのリーダーとなる組織の育成が今後の課題となるが、難しい問題です。
----------------	--

番 号	23	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	図書館の充実事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書等資料の充実 ・ 子どもの読書活動推進 ・ 音楽、映画、講演会等の各種事業の実施 【目標】 図書館の利用促進と図書館機能の向上		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	8,992,000 円 (8,959,061 円)	9,209,000 円 (9,105,456 円)	9,291,000 円
執 行 率	99.6 %	98.9 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>○図書等資料の収集は、司書による選書、利用者からのリクエストに応じた資料の収集及び他館からの借受けなどを迅速かつ的確に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出数 190,513 点 (個人、団体等全館計) <p>○ボランティアによる読み聞かせは出前サービスで出向くことにより、図書館利用の促進に寄与している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣先 19ヶ所 (20ヶ所) ・ 出前回数 235 回 (222 回) ・ 派遣人員 297 人 (273 人) ・ 参加者数 2,454 人 (3,669 人) ※ () 内は前年度数値 <p>○以下イベント及びサービス等により、人員、予算とも限られた枠内において、魅力ある図書館の創出を効果的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館コンサート 3 回、映画上映 20 作品、図書館まつり 1 回 ・ BGM を流す ・ 無線 LAN 利用サービス ・ 雑誌スポンサー制度導入 ・ 本の装備体験講座 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>図書館サービスに対する市民ニーズの多様化にともない、職員の更なる意識改革、資質向上等が求められる。</p> <p>人口減少に伴い利用者が減少傾向にある中、図書館に何が求められているのかを検証し、事業の継続又は見直し等を検討するとともに、図書等資料やレファレンスサービスを充実させ、居心地の良い施設空間となるよう環境整備に努める。</p> <p>また、今年度は長門子ども読書ボランティア連絡会（新規）を開催し、子ども読書ボランティア間の交流を図ったり、「うちどく（家読）事業」の一環として、昨年度から始めた閉館後のナイトライブラリーの拡充等、新たな試みを実施しながら利用者の拡大と、図書館の活動を広く市民に認識してもらうこと等に取り組む。</p>
----------------------------	---

〔 事 業 名 〕 図書館の充実事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館はよく利用させていただいていますが、図書館全体としてのレベル（利用者を含め）は、他市と比較して決して高くないと思います。職員、利用者がより質の高い図書館の在り方を目指す取組が必要と思います。 ・情報発信がよくされていると思います。 ・読書好きの子を増やすためにビブリオバトル（人を通して本を知る、本を通して人を知る）を学校と共催すると良いと思います。家読にもつながると思います。 ・障害者が読書を楽しめるような、紙の書籍を電子化したマルチメディア・デイジーがあると良いと思います。 ・読み聞かせ出前サービスの参加者の減少が、また増加するよう期待する。新しい取組をされ工夫しているところを今後も発展進化させてください。 ・長門子ども読書ボランティア連絡会の活躍に期待します。 ・図書館と市民を結びつける取組を今後も頑張ってください。
----------------	---

番 号	24	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	婦人団体活動支援事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>長門市連合婦人会の活動を財政的及び事務的に補助、支援する。女性の立場からの様々な行政課題の解決に向けた活動を側面から支援する。</p> <p>【目標】地域婦人会の連絡提携と女性の教養・文化・体育の向上</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	716,000 円 (716,000 円)	716,000 円 (716,000 円)	716,000 円
執 行 率	100 %	100 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>婦人会は市の諮問機関や実行委員会等、多くの任意団体に構成員として求められ、女性の視点や立場を代表する市の主要団体として位置づけられており、市の社会教育関係団体の顔として、生涯学習の推進をはじめ、行政計画の策定等様々な場面で大きな貢献を果たしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長門市連合婦人会補助金 716,000 円 ・平成 28 年度会員数 409 人 (油谷 200 人、仙崎 195 人、俵山 14 人) ・会員一人の年会費 油谷 400 円、仙崎 500 円、俵山 1,000 円 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>婦人会組織が全地区にないこと、高齢化により年々会員数が減少していることは大きな課題である。若い人が気軽に参加できる組織となるように助言を行いながら、今後も活動を支援していきたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 婦人団体活動支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 婦人会組織の意義も時代とともに変わっていくものであり、若い人の加入が少ないという現状に問題を見い出していく必要がある。 ・ 組織そのものが問われている時代になっていると思う。 ・ 皆様の献身的なご支援、ご協力に頭が下がります。 ・ 3 地区だけになった組織、必要とされる地域活動等を再考しなければいけない時期かもしれません。 ・ 高齢化、共働き等、会員の拡大の難しい時代になってきていると思う。新たな組織、旧団体の復活の働きかけに助言をしていただけたら良いと思う。 ・ 若い層の視点や発想で、組織の運営ができるようになると良いと思う。 ・ 婦人会員数も年々減少しているように思います。婦人会への勧誘も必要になっていると思います。 ・ 婦人会の在り方も少し考え、参加しやすいものを作る必要があると思います。
----------------	---

番 号	25	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	青少年健全育成団体支援事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>青少年健全育成団体への活動費及び活動の補助・支援や事務業務の支援を行う。各団体の運営については自主性を持って行なわれているが、専門的な問題や行政課題に関する問題については市が側面から支援するとともに、連携して取り組む。</p> <p>【目標】 青少年の健全育成の推進</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	838,000 円 (838,000 円)	638,000 円 (638,000 円)	638,000 円
執 行 率	100 %	100 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>子ども会育成連絡協議会、青少年育成市民会議の事務については嘱託の社会教育指導員を配置し支援していることにより、団体の健全な運営が確保できている。</p> <p>また、団体事務局を生涯学習スポーツ振興課内に置くことで市と連携し円滑な事務執行ができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会育成連絡協議会補助金 176,000 円 ・青少年育成市民会議補助金 261,000 円 ・長門市PTA連合会補助金 151,000 円 ・ガールスカウト活動費補助金 50,000 円 		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>青少年健全育成団体の活動が各支部においても、円滑に実施されるよう、地域や各公民館と連携をとりながら、今後も活動を支援していきたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 青少年健全育成団体支援事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の支援、協力が不可欠と思います。 ・積極的な「広報活動」をお願いします。 ・行政の支援がないと活動できない団体です。自主性をもって献身的に活動されている姿に感謝したいと思います。 ・より連携をとり、より良いものになっていくことを望む。 ・継続して支援していただきたい。 ・今後も活動支援を続行。
----------------	---

番 号	26	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育講座開設事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>市民を対象に人権教育を推進するための講座を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回人権教育セミナー 平成28年7月26日 長門市立図書館2階視聴覚室 参加者 約105人 ・第2回人権教育セミナー 平成28年9月24日 三隅中学校屋内運動場 参加者 約180人 ・第3回人権教育セミナー 平成28年12月4日 日置農村環境改善センター 参加者 約140人 <p>【目標】人権意識の向上や人権についての啓発・啓蒙</p>		
予 算 額 (決算額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	345,000円 (183,648円)	343,000円 (309,217円)	348,000円
執 行 率	53.2%	90.2%	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>各講座とも人権教育推進委員の主導で講座を開催している。実施後のアンケートによると「とてもよい」「よい」が約90%であり、市民の人権意識の向上や啓発・啓蒙につながったと思われる。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>より多くの方に参加していただけるよう、コンビニエンスストアや大型店舗等にポスター等を掲示している。</p> <p>また、ほっちやテレビを活用した啓発活動や番組の制作については、より分かりやすく親しみやすい啓発となるよう工夫し、今後も継続していく。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 人権教育講座開設事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地道な継続した取組が大切です。 ・講演等もよいと思いますが、「人権」に係る書籍等の紹介、周知も積極的に行っていただきたい。 ・人権感覚・認識はすぐ変わるものではありません。道徳心を涵養するには、繰り返し啓発活動するしかないと思います。内容や講師等いろいろ検討されていると思いますが、聞いてみたいと思えるセミナーをよろしくお願いします。 ・PR 啓発を今後ともよろしくお願いします。 ・PTA などの各種団体とのタイアップで開催すると良いと思います。 ・人権教育は、今後も必要が深まるので続けていってください。
----------------	--

番 号	27	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	人権教育啓発推進事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>人権問題についての認識を深めるため、市民を対象とした「人権ふれあいフェスティバル in 長門」を開催する。</p> <p>【期 日】平成 28 年 8 月 20 日（土）</p> <p>【会 場】ラポールゆや 大ホール</p> <p>【対象者】一般市民 約 500 人</p> <p>【内 容】「地上に平和を！人々に笑顔を！」 ～笑いは世界の共通語～ 講師 落語家 笑福亭鶴笑 氏</p> <p>【目 標】人権意識の向上や人権についての啓発・啓蒙</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	377,000 円 (333,955 円)	182,000 円 (181,058 円)	343,000 円
執 行 率	88.6 %	99.5 %	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>フェスティバル実施後の人権問題への関心・理解についてのアンケートによると、「大変深まった」37.1%、「おおむね深まった」55.9%と高い評価をいただいた。(計 93.0%)</p> <p>平成 28 年度は山口県教育委員会との共催であったが、人権教育講座開設事業と同様に、人権教育推進委員を中心にフェスティバルを開催しており、充実した内容となっている。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>フェスティバルの内容はアンケート結果にあるとおり、高い評価をいただいている。より多くの方に参加していただけるよう、ほっちゃんテレビやチラシなどにより周知に努めたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 人権教育啓発推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生・中学生もかかわれるようなイベントを今後も期待します。 ・継続の必要性の大きい事業の一つで、周知活動へもさらに力を入れていただきたい。 ・大変大事な事業だけに小学生・中学生が参加できるような日時や会場（ラポールゆや、中央公民館、ルネッサながと）を設定できると良いと思います。 ・評価が年々高くなっているところは大変良い。 ・継続してほしい。 ・人権教育を多くの市民に広げていける方法を考えてみるのも良いと思う。
----------------	--

番 号	28	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	生活習慣マネジメント・サポート事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要 及び目標	<p>文部科学省委託事業を活用し、教育委員会、学校、学校運営協議会、公民館、保護者等を含む地域住民や大学の研究機関関係者で地域協議会を組織し、家庭、学校、地域における生活習慣改善に向けた取組を実施する。</p> <p>さらに、その取組の検証を通して、生活習慣改善のための実践モデルを作成する。</p> <p>【モデル地区】 日置地区</p> <p>【実施校】 日置中学校、山口県立大津緑洋高等学校日置校舎</p> <p>【補助率】 10/10</p> <p>【受託期間】 平成27年度～平成28年度</p>		
予 算 額 (決算額)	平成27年度	平成28年度	平成29年度(当初)
	1,396,000円 (845,053円)	1,351,000円 (1,172,118円)	0円
執 行 率	60.5%	86.8%	—
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>平成28年度は、前年度の検証結果や成果を受け、学校教育・社会教育の両面で幅広く取り組みを展開した。</p> <p>学校教育面では、市内全小・中学校で睡眠を中心とした生活習慣形成に係る授業の実施、学校保健委員会等の場で保護者に向けた学習機会を積極的に設けた。</p> <p>社会教育面では、各公民館を核として、一般市民を対象とした学習会や研修会を取り入れ、市民全体の意識の高揚に繋げることができた。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>平成 28 年度末をもって委託事業としての取組は終了したが、継続した取組により、更なる成果が期待できるものであることから、本年度以降も、これまでの実践から見えてきた成果と課題を十分に検証し、構築してきた指導のノウハウを更にブラッシュアップしながら、学校教育・社会教育の両面で継続的・計画的に取組を進めていきたい。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 生活習慣マネジメント・サポート事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・着実な理解、浸透が図れていると思う。 ・継続して取り組むことにより、一層の成果が期待できる。 ・眠育で生活のリズムを整える。この事業は、幼児・小学生・中学生・地域ぐるみで取り組まないと習慣化しないと思います。 ・生活習慣づくりは、保護者にも理解をもっと深めていくことが大切であると思う。時間の使い方、食事のとり方等、ベースにあるものがしっかりとできて、その上に学習が身につくものとする。 ・今後、モデル校を拡大するなど、是非継続していただきたい。 ・今後も継続的、計画的に取り組みを進めて欲しい。
----------------	--

番 号	29	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	地域スポーツ人口拡大推進事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	山口国体の開催競技を「我がまちスポーツ」として地域に根付かせ、推進してきた「我がまちスポーツ推進事業」の後継事業である、県の「地域スポーツ人口拡大推進事業」を活用して、広域的な連携を含め、「する」「観る」「支える」者の増加を図っていく。		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	10,000,000 円 (10,000,000 円)	11,000,000 円 (9,100,000 円)	11,000,000 円
執 行 率	100 %	82.7 %	—
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標を下回る		
	ラグビーフットボールを我がまちスポーツの核として位置付け、山口国体で培われた「する」「観る」「支える」人材を更に増幅させ、地域スポーツとして一層発展させるため、ラグビーワールドカップやオリンピックでのキャンプ招致も見据えた競技人口の拡大と運営能力の向上を図っている。また、サイクリングを活用し、近隣市とも連携しながら、広域的な地域活性化の取組も推進している。		
	各事業の参加者等は以下のとおり。		
	事業名	主な内容	人数
広域的展開事業	サイクリングイベントの実施 訪日サイクリングの誘致	2,370 人	4,000,000 (4,000,000)
大規模大会等誘致 開催事業	西日本オールディーズラグビー フェスティバルの開催	400	3,000,000 (1,100,000)
トップアスリート 交流事業	スポーツ合宿誘致事業	3,297	4,000,000 (4,000,000)
西日本オールディーズラグビーフェスティバルについては、予定参加チームが大きく下回ったため、支出額が大きく減少した。			

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>県の「我がまちスポーツ推進事業」の後継事業である「地域スポーツ人口拡大推進事業」により「する」「観る」「支える」視点からスポーツ人口の拡大を図っていく。新たに開始した大会等については、県事業の対象期間中に補助金に頼らない実施方法を確立しながら、大会の定着化を図っていく必要がある。目標を下回ったラグビー事業については、ラグビーワールドカップのキャンプ招致をより見据えた事業に転換していく。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 地域スポーツ人口拡大推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップキャンプの招致については現状を把握し、しっかりとした情報提供を行い、市民に理解していただくことが必要である。他の候補地と比較した時にハンディキャップも見えてくるように思う。 ・我がまちスポーツにどのくらいの人に関心を持っておられるのか疑問です。ラグビーフットボールを柱に据えるなら、もっと小学校・中学校・高校で競技を盛り上げる事業が絶対必要です。そうしないと「する」→「観る」→「支える」につながりません。大津緑洋高校に頑張ってもらいたい。 ・ラグビーワールドカップキャンプ招致を目標としての事業を計画性をもって進めていただきたい。 ・今の子どもたちが、「したい」「観たい」と思っているスポーツと合致しているのか疑問ではあるが、市民の理解と協力が得られるようにしていただきたい。 ・スポーツをする人、見る人、学ぶ人と多くの人に参加できるように進めていってください。
----------------	--

番 号	30	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	スポーツ教室・健康医学講習会開催事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	各種スポーツ教室を開催する。 【目標】 市民が健康で豊かな生活を送るための機会を提供する。		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	490,000 円 (480,781 円)	649,000 円 (640,280 円)	649,000 円
執 行 率	98.1 %	98.7 %	—
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市民が各種スポーツの基本を学び、スポーツに親しむ機会が増すことにより、健康の維持増進を図っている。 平成 23 年度から取り組んでいるチャレンジ・ザ・ゲームの普及・啓発を図るため、スポーツ推進委員会を中心に、子ども会や P T A の集会、スポーツ少年団事業などの各種イベントへ出向き、競技の講習や記録会を開催している。 これまでに普及しているスポーツの推進だけでなく、運動が苦手な人や、体を動かすことが嫌いな人でも楽しめる、独自に開発した「パターでビンゴ」の普及にも取り組んだ。また、広報啓発活動に力を入れるため、スポーツ推進委員のフェイスブックページを開設したことなどにより、出前講座の数は年々増加している。		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>今後も、市民がスポーツに親しむ機会を増やすため、チャレンジ・ザ・ゲームの教室を開催していく。</p> <p>研修会や出前講座を行い、随時スポーツ推進委員のホームページを更新していくとともに、独自に開発したニュースポーツのルールを動画等で作成し、より多くの市民に親しんでもらう。</p> <p>また、他市との交流を深めそれぞれの取組を学び、より市民がスポーツに親しめる取組につなげていきたい。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 スポーツ教室・健康医学講習会開催事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心的な役割を担うスポーツ推進委員の個々のレベルアップを図っていかねばならない。 ・ 「競技種目」の取捨選択も臨機応変に行っていくべきと思う。 ・ スポーツ推進委員の献身的なボランティア活動に、ただ頭が下がります。市民がより健康で楽しく過ごせるためのスポーツレクリエーションの普及によりしく願います。 ・ 運営に携わる方々の努力に感謝する。益々、参加者が拡大し、楽しい企画を提供していただきたい。 ・ 幼児期の運動は、その後の身体の資質や心の発達にも影響するが、体を使って遊ぶ機会が減ってきている。幼児期の運動にも目を向け、取り組んでいただきたい。 ・ 誰もができるスポーツを通して、健康意識が高まることを期待しています。
----------------	--

番 号	31	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課																	
事 業 名	長門市体育協会補助金事業																			
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実																			
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了																			
事業の概要 及び目標	<p>本市における中核的なスポーツ団体組織である長門市体育協会の活動及び運営について支援をする。</p> <p>【目標】 加盟団体の育成強化と市民の生涯スポーツ活動の推進</p>																			
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)																	
	13,797,000 円 (12,197,428 円)	13,797,000 円 (13,067,049 円)	13,797,000 円																	
執 行 率	88.4 %	94.7 %	—																	
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る																			
	<p>長門市体育協会は、市内のスポーツ競技団体が加盟する中核的なスポーツ団体である。指導者育成研修会の開催をはじめ、加盟団体の指導・育成にあたりとともに、協会の自主事業として市民ハイキング、グラウンドゴルフ大会、市民スポーツフェスティバル、市民駅伝大会等の各種大会を開催し、市民のスポーツ振興、体力・競技力の向上を図っている。</p> <p>・長門市体育協会の決算内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">支出</td> <td>事務局人件費</td> <td style="text-align: right;">8,910,633 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">1,678,169 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費等</td> <td style="text-align: right;">3,132,947 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td style="text-align: right;">13,721,749 円－①</td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>大会参加負担金等</td> <td style="text-align: right;">654,700 円－②</td> </tr> <tr> <td>差引 (①－②)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">13,067,049 円 を補助</td> </tr> </table>			支出	事務局人件費	8,910,633 円		事務費	1,678,169 円		事業費等	3,132,947 円		計	13,721,749 円－①	収入	大会参加負担金等	654,700 円－②	差引 (①－②)	
支出	事務局人件費	8,910,633 円																		
	事務費	1,678,169 円																		
	事業費等	3,132,947 円																		
	計	13,721,749 円－①																		
収入	大会参加負担金等	654,700 円－②																		
差引 (①－②)		13,067,049 円 を補助																		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>今後も、市の中核的なスポーツ団体として、市民が多く参加できるスポーツ大会等の開催や、加盟競技団体の育成・指導、競技スポーツの強化を図る各種事業が円滑に行えるよう支援を継続していく。</p> <p>また、大規模なイベントの前には専門委員会等を開催し、問題点の改善や新たな試みを実施していくほか、人気の高い市民駅伝や市民ハイキング等の更なる充実を図る。</p>
----------------------------	---

〔事業名〕 長門市体育協会補助金事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規模的に大きな予算を費やしている事業であり、支出面での正確な精査は必須である。 ・今後とも市民目線での運営能力の向上に努めていただきたい。 ・スポーツ活動を推進する上で、心強い支援です。 厳しい運営事情はよく理解できるのですが、未来を担う子どもたちへの投資として、参加料は免除して欲しい。 ・市民駅伝は歴史があり、参加者も多くあって良い。 ・各大会の内容が市民のニーズに合っているか、見直しをしながら進めていただきたい。 ・スポーツ人口の減少している地区があることから、若い人のスポーツ参加のできる体制をつくってもらいたい。
----------------	---

番 号	32	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課																																														
事 業 名	平成 28 年度全国高等学校総合体育大会開催事業																																																
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実																																																
区 分	<input type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 新規		<input checked="" type="checkbox"/> 完了																																												
事業の概要 及び目標	<p>全国高等学校総合体育大会は、高等学校教育の一環として高校生に広くスポーツの実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とする。</p> <p>長門市では空手道競技を開催する。山口県の開催基本構想に基づき、長門市実行委員会を設置し、全国各地から訪れる人々を温かく迎えるとともに、高校生最大のスポーツの祭典にふさわしい深い感動を与える大会を行う。</p>																																																
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度 (当初)																																												
	3,121,000 円 (2,855,698 円)		10,172,000 円 (10,171,109 円)		-																																												
執 行 率	91.5 %		99.9 %		-																																												
評 価 (取組状況 及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る																																																
	<p>県内外から多くの選手役員・観客が訪れ開催した。</p> <p>地元高校生も大会の準備・運営等において、積極的に参加し、一人一役で活動に取り組むことで、全国各地から訪れる人々を温かく迎えると同時に、各生徒においても多くの感動や達成感を味わうことができ、高校生最大のスポーツの祭典にふさわしい大会となった。</p> <p><役員補助員参加人数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">役員・補助員等</th> <th colspan="2">選 手</th> </tr> <tr> <th>競技役員</th> <th>運営役員</th> <th>補助員</th> <th>合 計</th> <th>校数</th> <th>生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>175</td> <td>199</td> <td>234</td> <td>608</td> <td>125</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>28</td> <td>49</td> <td>247</td> <td>324</td> <td>135</td> <td>422</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>203</td> <td>248</td> <td>481</td> <td>932</td> <td>260</td> <td>865</td> </tr> </tbody> </table> <p><入場者数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>7/30(土)</th> <th>7/31(日)</th> <th>8/1(月)</th> <th>8/2(火)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,876</td> <td>12,907</td> <td>11,131</td> <td>6,390</td> <td>37,304</td> </tr> </tbody> </table>						区分	役員・補助員等				選 手		競技役員	運営役員	補助員	合 計	校数	生徒数	男	175	199	234	608	125	443	女	28	49	247	324	135	422	計	203	248	481	932	260	865	7/30(土)	7/31(日)	8/1(月)	8/2(火)	合計	6,876	12,907	11,131	6,390
区分	役員・補助員等				選 手																																												
	競技役員	運営役員	補助員	合 計	校数	生徒数																																											
男	175	199	234	608	125	443																																											
女	28	49	247	324	135	422																																											
計	203	248	481	932	260	865																																											
7/30(土)	7/31(日)	8/1(月)	8/2(火)	合計																																													
6,876	12,907	11,131	6,390	37,304																																													

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	
----------------------------	--

〔事業名〕 平成 28 年度全国高等学校総合体育大会開催事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大会運営に対する「負の意見」をより多く吸収していくことにより、今後の様々な同様なイベントに対する運営上の参考・ヒントとしていただきたい。 ・ご苦勞様でした。大会も無事終わり、また、長門市の情報発信も十分できたのではないかと思います。空手道競技の今後益々の隆盛を祈念しています。 ・今回で完了となるが、スポーツ交流で培われたノウハウをまた他の事業で活かしていただきたい。 ・生徒にとって達成感を味わう大会になったことは、嬉しく思う。 ・貴重な体験ができて良かったと思います。今後、またあるなら、よりよい成果が期待できると思います。
----------------	---

番 号	33	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	ウルトラマラソン開催事業		
施策の課題	いつでも、どこでも学べる機会の充実		
区 分	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事業の概要及び目標	<p>風光明媚な長門市の特色を生かしたマラソン大会を開催することにより、交流人口の拡大とそれを支える地域の活性を促す。日本航空が冠スポンサーとなったことで「JAL 向津具ダブルマラソン」として開催することとなり、平成 28 年度は募集要項の作成及び参加者募集を行う。</p> <p>油谷・日置地区の一般道を利用してダブルフルマラソン（84.39km）、シングルフルマラソン（42.195km）、棚田ウォーク（30km）の 3 部門の開催を決定し、各 300 名の参加者を募集する。</p>		
予 算 額 (決算額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	—	1,483,000 円 (1,337,066 円)	5,354,000 円
執 行 率	—	90.2 %	—
評 価 (取組状況及び成果等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>○募集要項等の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・距離計測、コースの決定 ・大会規約、募集期間等の決定 ・ポスター及び募集チラシの作成等 <p>○参加申込期間 平成 28 年 12 月 16 日～平成 29 年 2 月 28 日</p> <p>○参加申込状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダブルフルマラソンの部 申込者数 320 名 (12 月 28 日募集締切) ・シングルフルマラソンの部 申込者数 319 名 (12 月 30 日募集締切) ・棚田ウォークの部 申込者数 311 名 (1 月 23 日募集締切) <p>日本航空が冠スポンサーになったこともあり、予定期間よりも早く定員に達した。特にダブルフルマラソン、シングルフルマラソンの部の Web 申込みについては、募集開始日に定員となった。このことにより早期に予算確保ができ、予算の積算を計画的に行うことができた。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>申込み用紙となる郵便振替の承認等に時間がかかり、パンフレット配布から募集開始までの期間が短くなった。Web 申込みと郵便申込みの割合も含め、検討が必要となる。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 ウルトマラソン開催事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを開催する主催者として、初回ということもあり、「不備な面」も少なからず発生したと考えられる。準備期間を十分にとって、課題を積み残さず、内容を精査し、次回の大会に活かしていただきたい。 ・ 地域の皆さんでやり遂げた、すばらしい大会だったと思います。今後の益々の隆盛を祈念します。 ・ 事故なく終えることができてよかった。 ・ スポーツ交流人口拡大には適した取組であるが、ボランティアの確保はこれからも課題である。 ・ 高校生ボランティアが活躍していたと聞いて嬉しく思うが、ボランティアと事務局との連携が不十分であったと聞いた。次回に期待する。 ・ ウルトマラソン開催事業は回を重ねて行ってください。 ・ ボランティアの仕事のある程度明確にし、事前の練習（行動）も必要と思います。もっと詳細に話し合いを持って大会に臨んだ方が、何が不足か、何をするか、わかりやすくなると思います。
----------------	---

番 号	34	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	放課後子ども教室推進事業		
施 策 の 課 題	学校・家庭・地域の連携を強化し、学習成果を生かす協働の促進		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	放課後の子どもの見守り、健全育成。 【対 象】 小学1年生～6年生 【実施校】 通小学校、向陽小学校、俵山小学校、神田小学校 向津具小学校 【目 標】 各放課後子ども教室の支援		
予 算 額 (決 算 額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	6,452,000 円 (5,957,962 円)	6,658,000 円 (6,060,474 円)	7,017,000 円
執 行 率	92.3 %	91.0 %	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	市内の小規模校を対象とした「放課後の子どもの居場所づくり」として進めている。週2日(火・金)の実施ではあるが、平成27年度より通小学校放課後子ども教室を開設することとなり、市内の小規模校全てに放課後子ども教室が開設されることとなった。 登録率は、通小96.2%(25人/26人)、向陽小76.7%(46人/60人)、俵山小56.7%(17人/30人)、神田小76.9%(20人/26人)、向津具小36.8%(7人/19人)、となっており、多くの児童が放課後の居場所として子ども教室を活用している。 また、各子ども教室にコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員を置き、研修を実施することで、安全安心面や教育面においてもより充実したものになるよう取り組んでいる。		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>高齢化により、安全管理員の確保が難しいのが現状である。 学習アドバイザーや安全管理員の人材育成について研修会を実施する等、今後も支援していく。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 放課後子ども教室推進事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「登録率の差」については、地域性とのかかわりもあると思う。今後、今以上に必要となる事業と思われ、週の日数増も検討いただきたい。 ・子どもの見守り活動は、当然責任が伴うのでスタッフとして難しい面がありましようが、第一線を引かれた専門の方が多くおられるので、お願いされると良いと思います。（声のかかっていない人、多数有） ・子どもたちが居場所として心休まり、また、伸び伸び安心して活動でき、学習面での一人勉強の習慣づけにもなるこの事業に、大変期待しています。 ・ニーズの高まりと人材の確保育成が、今後上手にいくよう考えていく必要があると思う。 ・放課後の子どもの居場所づくりだけでなく、見守りの方たちとのかかわりも子どもたちによい影響を与えていると思う。人材育成は、引き続き計画的に行ってもらうとともに、見守りの方たちへの支援も併せてお願いしたい。 ・人材育成、人材確保を今後も行って支援して欲しい。
----------------	--

番 号	35	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	文化財の保護・活用事業		
施 策 の 課 題	次世代への地域文化の継承		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>ながと歴史民俗資料室及び日置歴史民俗資料館において、本市の埋蔵文化財や民俗資料、歴史資料等を常設展示している。</p> <p>また、ながと歴史民俗資料室においては、企画展を年4回、山口県埋蔵文化財センターの巡回展を毎年1回実施し、あわせて長門市文化財保護協力員の研修会を開催している。</p> <p>【目標】地域文化財の保存・管理と地域文化の伝承</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	1,420,000 円 (1,416,840 円)	1,420,000 円 (1,332,240 円)	1,492,000 円
執 行 率	99.8 %	93.8 %	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>○ながと歴史民俗資料室</p> <p>昔の農具等の常設展示及び企画展を行っている。常設展示では深川小学校3年生、仙崎小学校3年生が歴史授業で訪問し、昔の農業について展示品に触れながら学習している。企画展では、県巡回展「発掘された山口」を4月、村上賢一写真展を6・7月、萩焼展を9・10月、長門懐古写真展を11・12月、深川古窯と長門古墳展を1・2月に実施(会期中土・日開館)した。</p> <p>また、収蔵品の貸出しや文化財の説明を学校にて行った。</p> <p>入館者：平成28年度860人(平成27年度446人)</p> <p>○日置歴史民俗資料館</p> <p>日置農村環境改善センター職員により見学者への対応を行っており、年間約70名の入館者があった。展示については、旧日置町時代の民俗資料や歴史資料が常設展示してあり、日置ふるさとまつりや日置小学校児童の歴史授業における入館が主である。今年度は、日置小学校の歴史授業で活用するため収蔵品を貸し出した。</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>ながと歴史民俗資料室では、今年度も企画展4回と県巡回展を予定している。また、市内小・中学校校長会で文化財保護室所管の4施設（ながと歴史民俗資料室、日置歴史民俗資料館、くじら資料館、村田清風記念館）と今年度企画展についての紹介文書を配布し、活用を案内した。</p> <p>今後は、各施設で展示している農具や文化財を集約し、展示品の整理、保存方法について検討する必要がある。</p>
----------------------------	--

〔事業名〕 文化財の保護・活用事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設を集約することにより、充実が図られると思う。 ・長門市は歴史の教材があふれています。学校とよく連携して身近な題材を糸口に児童生徒が主体的に学んでいけるよう工夫し、子どもたちが地元への誇りや愛着を感じてくれる事業となるよう、これからもよろしくをお願いします。 ・入館者が増えていることは良い。学校の授業として積極的に活用して欲しい。 ・今後も実際に資料室に足を運んでもらうような工夫が必要である。 ・文化財保存方法は十分できているのか、再確認が必要である。
----------------	---

番 号	36	主 管 課	生涯学習スポーツ振興課
事 業 名	地域文化の継承事業		
施 策 の 課 題	次世代への地域文化の継承		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了		
事 業 の 概 要 及 び 目 標	<p>鯨及び漁村文化に係る民俗資料の保存及び展示を行うくじら資料館及び郷土の先賢である村田清風及び周布政之助の遺品と資料や歴史民俗資料を展示する村田清風記念館の運営、維持管理を行う。</p> <p>平成 29 年度はくじら資料館の空調機器修理を予定している。また、村田清風記念館では、明治維新 150 年に向け展示室の改装を実施する。</p> <p>【目標】くじら文化や村田清風の業績に対する理解を広げていくこと、地域文化財の保存・管理と地域文化の伝承。</p>		
予 算 額 (決 算 額)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (当初)
	23,607,000 円 (22,695,384 円)	15,840,000 円 (15,270,453 円)	22,061,000 円
執 行 率	96.1 %	96.4 %	—
評 価 (取 組 状 況 及 び 成 果 等)	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を下回る		
	<p>○くじら資料館 国指定有形民俗文化財である「長門の捕鯨用具」を保存・展示しており、要望があれば来館者に対する説明も行っている。 入館者：平成 28 年度 8,895 人 (平成 27 年度 8,720 人)</p> <p>○村田清風記念館 平成 27 年度は大河ドラマの効果もあり、年間の入館者は多かったが、ドラマ終了後減少した。また、村田清風競書大会や古文書講座を開催し、村田清風の偉業を周知・啓蒙する自主事業も実施している。 入館者：平成 28 年度 2,983 人 (平成 27 年度 10,732 人) 競書大会参加者：平成 28 年度 47 人 (平成 27 年度 56 人) 古文書講座参加者：平成 28 年度 27 人 (平成 27 年度 25 人)</p>		

<p>課 題 と 今 後 の 取 組</p>	<p>両施設の運営を含む文化財行政の円滑な運営の課題として、企画展の実施や展示物の調査研究等を行う学芸員等の専門的な関わりの必要性を感じている。それにより来館者増も図れるのではないかと考える。</p> <p>村田清風記念館は、平成 30 年度の明治維新 150 年にあわせた新たな企画展が開催できるよう、具体的な取組を考える必要がある。</p>
----------------------------	--

〔 事 業 名 〕 地域文化の継承事業

<p>外 部 評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある資料館としてのイメージ作りのためにも、市民・来館者へのアンケート等を常に実施、充実させるとともに、マス媒体への働きかけも大切だと思います。 ・学校と連携して、過去の地域の出来事と日本史を関連づけた教材の取組、また、時代の流れと地域的なつながりを重ね合わせて歴史を眺めるなどを企画すると良いと思う。 ・ケーブルテレビ放送での資料館の展示案内は大変良いと思います。市民の意識も高まります。 ・学芸員、専門家等の人材育成も大切なことと思います。 ・展示の充実、魅力を高め、長門市観光の中心的なものとなって欲しいです。 ・村田清風記念館の新たな企画展に期待している。ワークショップの開催や、夏休み学生ボランティア見習い学芸員体験など、学生の来館が増えることを望む。 ・地域文化継承、残念ながら無くなった地区もあったと思います。できれば無くなったところも再開できれば、再開へ向けて行って欲しいと思います。今、継承をしていっているところは、無くならない様な対策を支援して行って欲しいと思います。
----------------	--